であるか。 配より一種のり であるに遠ひないのであるが、同 じく軍部の意識を驚頭した内閣で 連手の意識を驚頭した内閣で 連

ちず、政黨領袖さの間に相當の政治解タクトを持

前途のため慶智

岡田内閣は

或は野支野蘇問題の荒海あり。

中間內閣

野田代議士談

鰻れ如何にもある。

日本の

出内閣の實質

、午前十時から、宮中に、本前十時から、宮中に影内し鈴木保鑑しる。一般では、大きないのでは、またないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、またないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、またないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、またないのでは、またないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、またないでは、また

於いて元老重臣會議を 開き奉答に關して協議 を行つた、参集都は西國部公 をはじめ復野の大臣、一木概整院 ・本はじめ復野の大臣、一木概整院 ・本はじめ復野の大臣、一木概整院

を 時間にわたり機重協議の結果、職 老重 臣 會議 は 今 回 電配さ共に選下したが、宮中に於 喜徳郎男を檻が悪した難とで素がするに次 初であるが、 右は過程機 で素もく奉祭し十一時二十分他の かる新郷を際く事を考慮して表してを高いましたが、宮中に於 喜徳郎男を檻が悪した数に でまる と 一丁する後 機 内 閣 奏薦の元 一つの現れてある

本人が之を背ずるか何うか疑問で 本人が之を背ずるか何うか疑問を 本人が之を背ずるか何うか疑問を 本人が之を背ずるか何うか疑問を 本人が之を背ずるか何うか疑問を 本人が之を背がるか何うか疑問を ながまるが

勝有力であり、厳相の人選に最も ・解析を人選は顧る入念に行はれや ・解析は大角大物館低せず来次大

表的賞様のある人

か 一の方針と密護する人物が要望せら、さるくであらう物臓であるが大艦において高徹氏、き且つ貨幣的手腕の りょうきょう

陸相海相會見

陸軍側の進言

車務局國策案遂行

角の噂あるものは膨然注文を有つて居り政黨、登園通り陸軍では新内

一方を接出すだらうさ 推 瀬 きれて た健戦の継承経成のために新陸棚

抜けの國

岡田新內閣

と輿論

大概な奏職もた所以は強力内四隅寺公が内閣省既着さして四隅寺公が内閣省既着さして

せしめんさす

園公の所信を中

兀老重臣極めて慎重協議

東京特電四日發圖經過收

園公入京直に参内

引日大・子格歴 って居りません って居りません 同十六年 同十六年

參內前

岡田大將語る

岡田大将略歷

最初の元老重臣會議

岡田海軍大將奏薦に決定

仮繼內閣組 屏 木 鈴 人行駛 治代惠本橋 人輔續 盛武 村 本 人刷印 地番一批判斷公東市連大

尚田海軍士

將

社報日洲滿社會式株所行發

拓相後任に

新大臣さして八田藩族副總裁が振 要な髪も縮総される今日後任権根 の東総会議に常館し都内統制の必 八田滿鐵副總裁說

の感想を語

らなかつた

一作なご

軍縮を控へ

齋藤首相の感想談

不穩文書

侍從長私邸に

れてゐるお他へ、

しろから浴衣を着せ掛けてく

まつた。

影響を磨すさいふ様な事は、お響を磨すさいふ様な事は、それがために満洲相の組閣は時期を得たもの僧職を目前に控へた際で岡

は一表をかなぐり捨て、意味聴きうに間、ある草原れた」

れてゐる女中は、湯上りのお梅に

藝術家か俗人かつろ

「まあ私に住せてお聞きなさい

「すぐお風呂へ遭入れるかい?」カラーな外しながら

ら、唐人口の鍵をそつき掛けてしま、枕部の水を敷せたお盆を手

Y.15 ¥.25

の組閣奏講に對し土肥原

土肥原機關長談

小島政二郎

柱

(47)

田專太郎書

西園寺公けさ参内奏薦

【東京特電四日發】西園寺公は四日午前宮中に於ける重臣會議の結果、後繼內閣の首班として軍事參議官海軍大將岡田啓介氏を奏薦するに決意し、直に表謁見所に於いて、東京特電四日發】岡田海軍大將は御召したは勅を奉じて午前十一時四十三分岡田邸に電話を以て午後二時參內するやう通達した、東京特電四日發】岡田海軍大將は御召しにより四日午後二時參內、天皇陛下に拜謁した。 「中後二時參內、天皇陛下に拜謁した」との四日午後二時參內、天皇陛下に拜謁と、直に表謁見所に於いて、電話を以て午後二時參內、天皇陛下に拜謁した。

齋藤首相と會見し

需要ないでは、 ないでは、 ないでは、

更に展開 入藏省事件 適任観され

「君も流になったらう」

このでは、 はず解のうらで古打らを打つた。 はず解のうらで古打らを打つた。 小間の中は、 場を落したスタンドが青い光線を水のやうに 臓に 煙 になるた。 地窓から 壁空が 暖い をはてるた。 地窓から 壁空が 暖い をはてるた。 地窓から 壁空が 暖い

和標面就是

人の男さ一緒にお風呂に這入れま

講演會が濟人でから、三四軒招

お悔をまるでいゝ仲でで

詩集を讀んであた狩野が、静かに

▲一生安心ナ新職業」

(規則進呈)

他デ絕對學ビ得ナイ

僕さ云ふ人間が

特專 許賣 N

を廻つて

の間中、彼は らあるや

力針協議

福津海岸に輝養中の床次政友顧問のた平路備が副議長は三日、また

英記者フ氏來滿『新京

氏は響て日露戦役には黒

觸

面でも打合せななし機能に決定すの機助を求めると同時に、陸軍方 東京三日養國通』北線្藤波突勝 ・ 職職代表クズネッオフ氏は會融 ・ 機職に入つて専門家の必要なく ・ 地議論に入つて専門家の必要なく ・ 地級理事會議理事長さもて一 北鐵ツ聯代表

番4 四日午前七時四十分着列 四日午前七時四十分着列 で

(宋) 同上 口稅關長)同上 て聞いてゐた。離

陸海軍は一致の行動を始

永田局長

・ 意見を観され、ば五、六年の非常 ・ 意見を観され、ば五、六年の非常 ・ である。 蛇角

社響の云つてゐるこさは、お梅。

「影響で

煙草に火を附けながら、一口バ よく分ったわし

の間田大将乗り出す。非常時局の擔當者さして、 随所に横にり、又濃落塵次襲ふ。

車、 響み終すのに骨が折れた。 ではチンプンカンプンで、 欠他を

ないでは、 ないでは、

が意氣でないまでの話 「詩人つて、意氣な酸賣かる思つ

ふものな――詩人全際な、整蔵し 惚っし僕

肋

腹

院 炎 連に快働セシムル全 前続快九○%

た、ごこでも偉きうな日を利いた

有馬 击山 太縄 三医学博士 創製

大阪市東成區中本町四五三 弘 文

飛銃特賣

大阪市住吉温阪南町中二 大日本電際學校

を意識が利利

肺結核ノ中期供予ラテ全治療 肺結核ノ初期有効性シャセノ療法を対す要をよってやして療法を対している。 全國多數の登案より得たる報告統

外科的結核治療状へ手痛ラッチを大力を 生泌殖尿 眼科的結核シ同時ニ其人ノ健康 おおお 大力解検カー% 結枝 アジャスシアを敷金 七七% メ其全治療快

気管支端 自ぶ 治療体土が発する 皮 寿運其他ニョル全市の快入へ 結 枝 当県在シテモ例外ナキ

發病 確

「不見解が、不見解が、不見解が、

新日本地の船長は、これを如何 問題は幹部船員たる新閣僚の

より 生職能野域の一大野郡戦を襲行す 軍の野旅戦を撃行すた結 後援の下に第二極交清州野日本戦 な大将さする慶應大本年 職盟軍を招称し来る二十八日本社 五日には觸東學生相撲 るこさに決定した。

生相撲職軍と

一囘の大爭覇戰

廿八日滿鐵運動會相撲部ご

滿洲相撲聯盟が招聘して

カからの挨拶に纏い

沙村

へる意味から日本旅送協会 ち七月四日の職立祭はクリスとがラムを送つて來るのに つた、フォース・ジュライ郎と (戦年天是鮮に際し奉釈の グラムを送つて來ることにない。 アメリカからもプロ

御立祭を祝し 日米交換放送 明早朝・挨拶は徳川公 クラムな送って來るこさにな

重の挨拶、グルウアメ

東原其他主なる方面へ大変を贈りる。

一昔前の戀が

然小刀の血は

血と判明

初日(旺)取

常能山天大大一盤登線龍山里組

刑事課鑑識係の分析

てゐるや否やな試験中で

一方が輸については靴内部の汚物れに力を得て総意機出中である、 反應 な字るに至り、

帝の風雲雨模様 ・ 本潮(午前四時) 二百分 ・ 本瀬(午前四時) 二百分 ・ 市本三五分 ・ 市本三五分

六五 日日

面日

二割弓

大連イワギ町

天気予報

を満たして行かればならぬので献. 大質を手控へする關係上チリーンで 得了朝鮮米或は内地米な輸入していよく〜足りないさなれば止むな えするでも一味八順六十 一般であるころ奥地の愛り のご見られてゐるのご見られてゐる おいても現在の妖態を非常に要へて種々野策を 上海三日養國通」當地の影響は 酷暑と大旱 筋暑と大旱 筋場と大旱 大旱 大旱 大旱 大旱 研究して ゐるが意外の方

月

七

サン方のお霊所豫算を

下つて来て満洲に入り又大連、安かれるの値段が上つた原因は例年

の非常時續

沿岸の米し大連方面に入

般市價よりも い公設市場 久しく續く不思議

能の壁が場げられんさしてゐる 음**프로**를 를

6

れる大汽

の立前から車なる見舞金を贈ることださの観測が各方面に行はれて

清本商会 大進帝後衛町

半五り帯場、洋中早へどだる

書

•

是他即贈答用として格好の田豊富・

小問物類教學學知

今度は益進丸が外國船と衝突

乘組員に異狀なきも詳細不明

返品返金自由·古带道具

9

品

電話

費22227署

な現象

夕今

都会生活者の末梢神經な尖らす騒音の既止運動に就いては既釈の如 大連署保安原岩井主任の手で楽 ら研究が進められ、先づこれが前 ら研究が進められ、先づこれが前 ら研究が進められ、先づこれが前 ら研究が進められ、先づこれが前 を表する。 騒音防止の 研究依賴

7 夏の服 ります。 ました。

連鎖街

^^^^^

驅逐艦急航す

商品 全 四三日日 両日 割 引 のトンセーパ百を機の此スピーサ大 やいなの逃見御非是



野報、借用證書を整造し金書から 三百日を職取した市内信仰町百十 ギン子へかは四日報も前日に引續 ギン子へかは四日報も前日に引續 き大連書に召喚され相常響能静の が注入するとは四日報も前日に引續 できた連書に召喚され相常響能静の が当時日で引着を表現した。 のよれ相信響に静の がは、一番地飲食店・カッキの女料佐賀 できた連書に召喚され相信響に静の のも、一番地飲食店・カッキの女料佐賀 できた連書に召喚され相信響に静の のも、一番地飲食店・カッキの女料佐賀 できた。 策動にも平静 女將遂に留置 MORI YOKO 來た 來た! 東京甚句 特 英純パマア 1 トールパナマーシャルパナママーシャルパナママーシャルパナママー 價 爱 金八三八

輕快で野趣に富みらかも換氣に申分なも近代人の感覺を巧にキャッチした新製品 の町速浪

(=)

夏期聚落の日割

牧城子ご熊岳城

郎 太 勝 吹 學一島三 込

元氣横溢

行 洋 森 樹鄉市澳大 二三一四代里

大事性に関係した日田三郎(ごろ)も 大事性に関係した日田三郎(ごろ)も

木村毅氏新京到着

殉職警備員に

破格の弔慰

満鐵新例を開く

滿洲里の日滿人

朝の五粒、

を 並さして支給すること、なつたが 清濃が軽伸成の帰職に際してこの の土気にも順保することでその整備 の 動した こと できれている ことできれている こと できれている こと なつたが また はいまれている こと なっちれている こと なっちん はいました はいまれている こと なっちん はいまれている こと なっちん はいまれている こと なっちん はいまれている こと なっちん はいまれている はいまでは、 はいまれている はいまない はいまでは、 はいまでは、 はいまれている はいまない はいまれている はいまない はいまれている はいまない はい はい はいまない はいまない はい はいまない はい はいまない はいまない はいまない はいまない はいまない はいまない はいまない はいま

九七一五(代)話電

Æ

理二二六四六番

英國製高級煙

連

座右に

ありて 日日是好日

本。五十本

B

務對院医男岩元

中線

H

至の

央館七月一週映畵

重

と演藝。

べ呼ばはつた。

伊賀越一九十

祇園囃子」

大二郎の「奴かがみ山

りリイフたり得てあない、ラスト 特は感動にゆきりは軽へてあるが 等は感動にゆきりは軽へてあるが 等は感動にゆきりは軽へてあるが が足らす遺戯性らコメディ・

忽然ご

犯す點は最も拙いると

Ł

湾东京东

元無洋行

大連鞍 7月7日 土 後7時 2元替 8日 日 早 朝 同 時 局 同 後7時 9日 月 前6時 使用船 阿波蘭共同18共同丸 全養 大人 6圖50錢 小人 4圖 黎船賞。食事費。聚物質な含む

橋 岡田時彦主

ヴァルヴ界の草命兒 特許不二グローゲーヴアルヴ現はる TRADE (MARK)

SECTION GLOGAYVALVA PATENT NO 147681 型蜂進 藤本合金工業所

腦減絕對無

凡ゆる症狀の適薬あ 胃腸

ラスト

市川春代・相良愛子・杉鈴木傳明・夏川靜江・田

る目とを 剃睡 研安全剃 つって 刀

七月 七六五 日日日 三日

御便利な共通商品券調進仕り候 大連市浪速町 夏川大連支店

四圓五十銭マデ 列会

中元御 ●化粧品セット (化粧函人)五十銭ヨリー 風ヨリ

時局柄首班は妥當だ

滿蒙毛織總會

新陣容確立

前財政策踏襲せよ

かれた期待してある、また財界人を一出られることを表心希望してある。 が、高橋財政が依然さして財界の でいた。 でいた。 が、高橋財政が依然さして財界の でいた。 ではないかでする。 が、高橋財政が依然さして財界の でいた。 でいた

改變には反對

か、これも今郎か、これも今郎か、これも今歌か、これは 一般ない。 知されない。 か、これも一般ない。 か、これも今郎か、

西正金支店支配人談

新味のある

財政政策を期待

古田鮮銀支店支配人談

日本及び漸洲國關係品の主なる (イン) 平方メートでは概能の打撃である、新税等 | 1二二、列記されざ以下同〇・〇五

八二センチ以下同〇・〇

日の利権な所有してゐるためださ無と、大衛に對し他に試験を有し、或種となるためださ無。

懸案の満洲製糖

ムに付四三 | 百四十圓內外に低迷と居るが、

設立計畫進捗

好勢の見込である、

る八月一日より旅客及び手小荷物 ルピンに引返し輸途に就いたて種々打合中であつたが、彪々来 なきため、三日午前九時海倫教の遺居さの間に於て連帯運輸につい 中の大連特重職祭職は復舊の見込道房さの間に於て連帯運輸につい 中の大連特重職祭職は復舊の見込

古澤錢

名譽副領事

今度の新税率は

野し響る好意能に考慮されてなってゐるものもあるから

糖、人織は近く追加税率

全回の税率改訂は大體關稅財 大體報告に對しては第五好意的の態度 が現はれてゐるので、この點か が現はれてゐるので、この點か を動きない。日本 は引上げき觀るべきだが、日本 に對しては響力好意的の態度 が現はれてゐるので、この點か を動きない。

五以下のもの一〇キログラムに付き二〇〇 「で付き二〇〇 「以上四〇〇五以下のもの一 「のキログラムに付き二〇五 「大ま)」に付き二〇五

近海は不味

遠洋底意强調

六月中海運界狀況

流酸アンモニア一〇〇キ

概ね邦品には好意

支那政府の税率改訂

八絹近く追加

生産高の減少ご 見られ

舊紙幣未回收

僅々九百餘萬

第二回 元弗〈分七 第二回 元弗〈分七

回收率九割三分一厘

前場市況回

船舶改善助成施設

實現を期待

自然五いの百典を取り

從つて最近における造

東東方期徐より新造船は見送られて船費高並に船舶助成施設延

鮮鐵
ど
總局
で

連帶運輸開

大豆療落

◆現物前場(銀建) 大豆(裸物 沿保/袋込三六八〇 三六〇〇 大豆(裸物

大豆(积粉)

出來高 九十車
出來高 九十車
出來高 二十車
至 納 二〇七〇 三五〇〇
出來高 二車
包 洪來高 二年枚
豆 油 出來不申
包 米 出來不申
包 米 出來不申
定期發合高(製 八八一車
定期發合印滅
前日對比較合印滅
前日對比較合印滅
前日對比較合印滅
一一
三百粕 三〇〇千枚
一八七〇
一一
三百粕 三〇〇千枚
一八十〇
一一
三百粕 三〇〇千枚
一一
三百粕 三〇〇千枚
一一
三百十二
三百भ

綿糸保合

鈔票强保合

思ひ切り

三五三番

現株週報贈呈の端株を買たし

洲電信電話株

限 60金 6510 限 60金 6510

南滿洲鐵道鄉

透明

홢 三元

0

力ユミ

○ 松尾商店○ 本記○ 本記</ **高終了ノ日迄株式名** (條ニ據リ明五日ヨ 原停止公告 福印

大運火災海上保險株式會社九年七月四日

迎歡口大

東新田用透明紙袋 御中越次第カタログ郵送 大連市西公園町一六七 植上 居 店

銀 15型枚 547755円 金 170円枚 175<500円 日)

洲日報(廣告部 水井婦人醫院 電話三六九五番

部總長宮殿下御邸に伺候と徳長一年年末四日養國通』岡田大将は四東京四日養國通』岡田大将は四

潮点と輔氏は四日午後齢表を提出

午後八時三十八分組閣本部を出て

では郵底やつて行けないから何分を訪問組閣の大命を理受した事にというという。

總裁は自分の方は今迄通り是々非の後機を乞ふ冒述べたに對し鈴木

か行はれたが理下の時間は かり見て如何にして打除するかが

又現下の財界。その他に反對強さらのあるため政治に解け、解除の財産の政策政治に移て事は軍部・関係の政策を監察し得ると同じの財産の対策を監察し得ると同じの対策を監察し得ると同じの対策を関係の対策を関係の対策を

岡田大

將奏薦まで

留任と新り

人閣

各別に支援懇請

鈴木政友總裁

潮次官辭表提出

地世話役から

番頭に拔権

官僚型だが腹はがツチリ

内閣は此の日ダ新までに軍部大臣 ・後から組閣工作に入った岡田新

相、廣田外相 紫龍しないが 場を開いないが

林陸相、大角海

石簿棒呈は今夕刻

新翰長河田烈君

章 ◆棚切君の内務畑に此し河田君 ◆棚切君の内務畑に此し河田君

早くも五日夕朝

であって、蘇樹敷は

て砂糖を売るこれ待つて来いの人

留任に決定

も新述する旨を言明した 本に岡田大粉より何等交渉を受け 未に岡田大粉より何等交渉を受け ないが同歌様は暖令蟹低慙識する

【東京四日養園通】 廣田外様(本 日職田大粋この交渉において留佐 で決定した

C

廣田外相留任

商相留任否定

兩黨首と會見

終文長並に真輪教育機器の来邸たして陸相官邸に贈るや直に植田参い転請を譲さしたるし俳響を保留

求め會見の上陸橋の留住を懇談する首相官邸に林陸橋の来邸を大将は四日午後四時三十分組閣本

園公御殿場へ

H

(刊日)

奉天

北平間

での答へて「機關長が不在で 即中佐に北平までですかる間は 栗車した特務機關の田島彦太 さ悲鳴、そして 日、瀋陽總站から奉天曜まで くさ「奉天も北平も同一でネ」 ◆…北平直通列車開通第一 だらうかいれだ

北平間の往 列車に開

さいふ、田島さんの一日も病

プはない 行はないよ」さ。

煙管旅行 や困るよし 郎氏

田島彦太

これ程のスピードアップな旅 恰度開列車の往復さなる課で

に乗車して推腸機站に行けば

書類に眼を適すだけでウンザ恰皮煙管旅行のやうなもので

各派の態度

接に注ダクの態で最近は「君

七分御殿場着直に別邸に

國防、外交第

我を堅持

年後十一時能者願さ會見、左の四巻それはわからぬて組骸に殺手した職田大粉は四日水るか、『東京四日麥國通』大命を無受し間明日中には組閣出

問・答・それ

深更まで奔走

組閣第一日の新首相

尚田内閣の

組織方針

東京特電四日發 剛田 て墨藍一致これを支持 に 内閣の期徐外れから中、失撃の色。 もあるも、新内閣が前内閣の凝凝な一貫する と説明して援助を求めたが、若應男は鈴木穂雄を中心とする に政藍の駅徐外れから中、失撃の色。 ちの緩脱も挺否すべし。 に改藍内閣と現を決議を一貫する 上前内閣の延起さ同様 を記明してぬる、民 破 驚 は 宇宙 閣覧を入れることはの のを認証も挺否すべし。 あるも、新内閣が前内閣の破凝を あるも、新内閣が前内閣の延起さ見様 を認証する版から前内閣の延起さ見様。 を認証する版から前内閣の延起さ見様。 を認証する版から前内閣の延起さ見様。 を認証する版が、多数はこの際。

際強硬態度を 様なる内閣に する一派は既 あるむる

出張してきんが」この附言。 日各地からの情報で日常の瞭 特務機關に着低以來等 始襲の平和列車な 平迄行つたき同

部の諒解獲得

大命拜受·組閣工作着手

新内閣の骨組成る

何さかスピー

ないのだからかせい旅行だ」

田島中佐は書類だけは煙管旅

行は絶跡にしないさうである

强力内閣は

全國民の要望

末次司令長官の意見

・「二日北平から奉天に

のである、同大粋は順浦な人格者と関係人大称を砂用するに至ったもので優々の意見の意味で同じまったものである。同大粋に関連なりである。

重大先例確立

「東京特置四日繋」四日午前宮中一下間な惣機さして此の形式を採つに腕がれた重臣會議はこれまでに たものさして注目されてゐるが 臣、福窓院議長、伊徳是及び前内西賦寺公は興に跡局野機の重大時 職機事大臣祭遇を以て此の奉答機能性をで御下間に奉答すべき最高 職さする重大先伸を抜に確立した 機能性気化の必要を置す合来の御 ものであるさ ふ宮中重臣會議 職さする重大先例を茲に確立した に、福舎院議長、徐維長及び前内 に、福舎院議長、徐維長及び前内

いはれてある

成の我る設國

備唯

英人ドコ吹でし込





AB



究・川、糸 洋服類蘊費

用的給

此凉。朝夕。

青壯年諸君

にんに帰 根本療法

王 道上 確達英 立の語 鹿兒島綠灸學校本科出身 蘇灸學得業士

陸、海、外三相留任決定 八車輪の岡田大 東京特電四日發 四日午後二時大命を無要した曜田大樹に直に赤田町散棚電路に入り無要した曜田大樹に直に赤田町散棚電路に入り無要した曜田大樹に直に赤田町散棚電路に入りませる。 藤子の田 拓務大官を 招致

東京特電四日發』降田 軍部大臣決定 林陸相まづ留任承諾

職本部に揺鉄し海根部低を懸綜し てこの喧噪田新貨根に興答すると 乗したに就いて御挨拶を記上して 殿下に拜講、海根さしての進速間 宮殿下に器を懸けり組骸の大爺を 午後五時二十分伏見車令部纏長宮 海根問題は驚災を見た

赤バイを先頭に整備自動車に前後 悪臓布市兵衛町の住友別邸を出て 悪なは中川秘書と自動車に同 の関連会は中川秘書と自動車に同 がらに右手には側の情報をつきつ | 軽に到着し貴賓多に少越に外域で同じながら虎の門を経て同

官邸に歸つた 若槻民政總裁

電車京四日餐園通 一鈴木政友会標準であるこの標準のおり、 で乗じた記から一些電路に確った間田新 電棚は午後九時十五分本郷の若機 で乗じた記か告げた後、政友会標 を乗じた記か告げた後、政友会標 最適任者と

他 ころなく午後八時五十五分辭去、 一 御殿方針に就いては何等帳るゝさ 一 岡田大寿は人 の 本主義で行く方針で既に新聞等で 養 蔵画 副 剛田 哲 の 本主義で行く方針で既に新聞等で 養 蔵画 通 剛田 哲

東京四日登画通 者製造裁に 東京四日登画通 者製造裁に 東京四日登画通 者製造数に 東京四日登画 一大 東京四日 一大 東京田 一 東京田 一 東京田 一 東京田 一 東京田 一 東京田 一 東京田 といふやうな事になれば成る可 と早く返答しようさいつで別れ た入れるかさいふ具體的な話は な入れるかさいふ具體的な話は 答。 たのだ

年後十一時語者際ご会見、左の如く問答した 記 組閣の方針如何 記 鈴木、若槻南穂裁を訪問した のは何のためか 答 先輩だから御挨拶に上のたのだ 問• 答 大命は我輩が拜しいかが 山本、高橋兩氏訪問は何か 先輩だから御挨拶に上つたま

啓 まあその考へて進んでゐる へである んな事

も一切考

電影に移るまで同ホールに泊る事 オテルに入つた、自宅が狭いので になったのである

間。

と 明日までは何も云へない を 明日までは何も云へない 答 そんな事はない、同じやうに 問軍部大臣は決つたのではな 問 民政黨總裁に對しては入閣交 きなして政友會總裁訪問は單な を機體的挨拶にさゞまる、入閣 交渉がなかつたこ傳へられてゐ るがごうか 車大将が

が良

内地財界新內閣評

の延続さればり 料などは二融となった本際軍の方 では山脈公以来、提公があり至内 がれたが海軍大概におはが纏つた だけのこまだ本陸軍が根常注文を ではありるといさいふ、一九三五十 変献さなな衆談遠島の現れださ見 六年の危機は海軍だけでない▲ 随海軍を互に 大粋な頭に持つて行って

(所込申)

東京市鲍町區富士見町三丁目六番地 井上通信英語 第次込申へ記左でキガハ







地であらうかり。本文の報者は 地でありまかが法律版に某く際係 中に異した所動行政に新しまりで 中に異した所動行政に新しまりで 中に異した所動行政に新しまりで

進過激の思想を行はんさす 一新するものさして優出しついある既態であるが、殊に銀行法第二十一條に規定する既態銀行の繁製十一條に規定する既態銀行の繁製十一條に規定する既態銀行の繁製

申請期限たる本年六

三〇計八七外に治外法權享有國 銀行三六 。 の五八、外一三、計七一

根の私邸隣の建物を臨時職舎さし く適當な所に新築されるはずでこ。東か合せて近く新京職卓地丁交通 は新驟舎は康第三十萬國を以て近。

電々起業計畫案

豚算ども拓務省認可

國都附近郵便網完備

而して警撃総領申請かなさなかつ 銀行業務企業でする

村 内はこ外なこ計なる治二計 内國銀行一二一、外國銀行四八、計一六九、治外法權享有四八、計一六九、治外法權享有四級行八一 省内六、外なし計六、治二

線新增設

信施設の

商工行政の革新期出

うは行かのも又地

一般に電信事務を開始するほか一般に電信事務を開始するほか

財政金融ご産業政策

全面的聯關の經濟的重大性

京郵務管理局設置

滿洲國銀行法制確立

は官吏が銀行の役員從業員さなり は官吏が銀行の役員從業員さなり は官吏が銀行の役員從業員さなり

財政部は近く何等かの處置に出

つる模様である 官吏の銀行員

就任を禁止 各官署に訓令

【新京特電四日發』滿洲國總務廳 けふ大連着

満鐵の貨車新造 豫算一千二百萬圓

來高 一萬枚 十一月限 三六七

殷同氏留任

爆破事件責任

040

關東廳辭令(四日)

18 内鮮滿臺有名文具紙店及デパートに有 野賃元 大阪市東區平野町二丁目 株式会社 福 井 商 店

宣傳機

印物一式

厚司エリ

· 場互染内竹

9

れん

幕

所贈答用品として自信ある 品を 豊富に取揃へて居ります

電車とWC

●対数などに軽い

賴疑はれてゐた國防軍司令官で

(版內市) (二)

の破裂

機先を制す ヒットラー氏 ナチス内訌

社

說

氏の今回のクー

に熟苦しい電車内に不配路

衝を遂ぐるため約人 總 計

八九九七

銀行に轉向續出

反對派は撃を潜め、黨外の目の

劣勢銀行の合同にも乘出す

の新京郵務管理局新設の曉は市民に多大の便識を襲へるもの少から、進

遠藤總務廳長

軍需株品騰

出來高{銀對金 廿二萬六千圓 綿糸保合

条大阪三品後場保合な入れ

一八八二〇 粗數 **煖房、給水用品** 本田三



雇 告

黻

「規則書安郵券二錢」電話四三〇八番

本年は東京より腕利の料理人を招聘致しました。 △御同伴には △御家族連れには 解かな美宝

夏の晩翠御案内

後場市況回

8

町支店 店

新東反 先 先 руруру

入院権科

生徒募集業效利了門科 英和タイピスト學院

走医院 信濃町九〇

一停留所中面

病弱の友を養ふ

女給の隣し

親身も及ばぬ一年ちかい介抱

*が吹く美しい話

本天出二日來來せる中西滿鄉地 部野中西級憲氏は三十日正午はこれ 文成二字山 むる情後の緩跡者として在鱖日滿 を 天地 委座 談會 前殿より秘郷されてゐる滿鱖地方 に 義議 龍笛山をして今日あらし 中西地方部長來鐵

ン工場の特美性は一本のケーソン総路で十五個のケーソンをってる近代科學の概を集めた機械装置をなる本年四十五個のケー

正假と進水が合理化された監で継承のケーソン工場は覧に東洋一だと場の特美性は一本のケーソン釧路で十五個のケーソンを自由に何時に

子の寓居を訪へ

杉本巡査に

【チチハル】 関連

軍警提

はて賞ないたいでは一個である。

動位授けらる

る六日より小學校の臨海教育を振 年の通り常地西海岸海水浴場も来

で作車八月間東京の に有様、チチハル、数化等各地の で作車八月間東京の で作車八月間東京の で作車八月間東京の で作車八月間東京の でである。 で作車八月間東京の でである。 で作車八月間東京の でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 ででる。 ででる。 でである。 ででる。 ででる。

新築を病

は漸騰さしても出來るだけの事は するが市民態においても大奉天趣 説のため出來るだけの助力をして 表示には、双方際意なき意見 電響な役割を減するケーソン工場は基礎工事が百十萬個でタテの高さ四五米自重六百瓩のケーソンを工作年前十時同工場に於いて梨原所長、職島饗港長電艦の上車艦など一ツン工候を調査の運動に重大なる影響を及ぼす此の鍵を握るケーソン工候を調査な融量公司は三十日東洋一のケーソン工場を調査を表現る場合の鍵を握るケーソン工作を調査な融量公司は三十日東洋一のケーソンコリ

ソン工場

【薩津】羅津築港ケ

ン工作の進歩如何は

「清津」北美國境地方は医々蘇聯 有事の際においては北鮮三港及び その他の都市が逸野く空襲を襲る その他の都市が逸野く空襲を襲る

一年本天殿前東邦 月一日本天殿前東邦 村出版の定文をさつて を を 大型本上り持ち行る で 大型本とコンプ

脳出た、同所

大石橋庭球戰

かく から 洗濯

ち しむるがためである を維持上、軍警の連絡を緊急なら しむるがためである しむるがためである

東車数 一等 一 三等 一 五 降車数 二等 七 三等 二二七 前日に比し乗車数七十一名降車数

潘教は左の如くで **『奉天』七月三日の直通列車乗降**

の各方能を観察した上して三日午後二時より教町社員は樂西滿級地方部長は三十一方部長で奉天地方委員での座談會 方事務所長を続め各委員出席、

方事務所長を初め各委員出席、話になって開催されたが、鵬屋地

無中增級問題

錦縣當局が決定

根本方針を研究

必要施設はど 議中西地方部長談

は、人力車夫等が動きすれば乗客によりました。 一部、人力車夫等が動きすれば乗客によりました。 一部、人力車夫等が動きすれば乗客によりました。 に禁し不常の賃金を強謀したりました。 に禁してあるが、降かれているが、降かれているが、降かれているとい乗への不都合な者も を逃ってるるが、降かれているが、降かれているが、降かれているが、降かれているが、降かれているが、降かれているが、降かれているが、降かれているが、降かれているが、降かれている。

軍殿防空士

北鮮の

港灣を中心に

九七、六六七枚

減した二月以來の

が六月に入つてこの! されて以來月な迷れ 『奉天』奉天驛入場 し六月は八萬七子

村高は次ぎの大減少を 松本二等兵の美事

な 『鷹陽』 野心〇〇家の松本二等兵 は一日緊緊署を訪れ際から支給された六月分の絵典金を其の儘社會

にしたさ

東以下の復覧は四日午後三時から 一時期の候離者は何さいつても 老練さ人権の接近では、て歌響される をする頭の候離者は何さいつても を対して、これる。 をがして、これる。 をがして、これる。 をがして、これる。 をがして、これる。 をがして、これる。 をがして、これる。 をがして、これる。 をがして、これる。 をがして、これる。 をがして、 をがし、 をがして、 をがして、 をがし、

直通列車乘降者

「秦天」講取の六月中成職は立會 日数十四日にもて實質総七萬九千 四百七十株、一日平城三千三百十 日数十四日にもて實質総七萬九千

道カター

いまするには偏在せる娘あり後 ・北陸等の地域を包含した中 のでありこれを吹造して放射。 ・北陸等の地域を包含した中 のでありまれを吹造して放射。 ・北陸等の地域を包含した中 のでありまれる。 「本天」率天北平間の直通外車の運行により激誘連站軽は幅に活動づき附近一帯の消人融人を天」率天北平間の直通外車の運行により激誘されてぬるが現在率天市街を動機する奉平、激吉る率天の飛躍も着るときものあるべく期待されてぬるが現在率天市街を動機する奉平、激吉る率天の飛躍も着るときものあるべく期待されてぬるが現在率天市街を動機する奉平、激吉る率天上平間の直通外車の運行により激誘連站軽は幅に活動づき附近一帯の消人融人

車馬規定料金

速かに歸順して 忠誠をつくせ

三〇五〇〇同三二〇三四八四六 〇五四

「響口」響口融業銀行にては預金 からが其金利息の引上げを賦行して なり頂金利息の引上げを賦行して なるが其金利息の引上げを賦行して を別常整預金日歩九厘普通預金一 大ケ月期限年六分一ケ年期限年五分 大ケ月期限年六分一ケ年期限年五分 大ケ月期限年六分一ケ年期限年五分 大ケ月期限年六分一ケ年期限年五分 大ケ月期間年五分

分、洋車は三分、降雨、降雪には 一部で、一日曜へば馬車は二元、 中日ならば一元、人力車は一日一 預金利息を 引上げ 營口商業銀行 公會堂地鎮祭 二日莊嚴に執行

をなり、諸同志に、 を変するならば油 を変するならば油 をするならば油 です(以下略)

弘道館上棟式

(可認物便郵機三第

建設

今後の上

大飛躍に備ふべく

合驛餘りに偏在的

事態は静殿を申出たと は會長の殿を静ら座 て申出たと暮ら喧䴘 を静ら座 王營口總 長辭職說

大般氏の出身地だる。 大般氏の出身地だる。 大般氏の出身地だる。 を必要さする時に では下多端の整日 ではずる時に ではずる時に ではずる時に ではずる時に ではずる時に ではずる時に ではずる時に ではずる時に も困難であるに悪 会 計 三四八、三七一 会 計 三四八、三七一 をりゆくなつた為めてはないかさ をりゆくなつた為めてはないかさ をりかくなった為めてはないかさ がら のほか しゅう かった のは 十 大百四枚で最も少なかつたのは十 三日の二千百二十四枚である

メッキして

廿四金の刻印

解熱鎮痛新剤

―近代的||厨房設備

から!!

億金四十銭

廣告圖案展

鄧鐵梅が部下に勸告

「「大車でであった。」

「大車でであった。」

「大車でであった。」

「大車でであった。」

「大車でであった。」

「大車でであった。」

「大車で乗りを、現を使うたが渡いる大車でであった。」

「大車で乗りを、現を使うたが渡いる大車であった。」

「大車で乗りを、現を使うたが渡いる。

「大車で乗りを、現を使うたが渡いる。」

「大車で乗りを、現るできまであった。」

「大車で乗りを、現るできまであった。」

「大車で乗りを、現るできまであった。」

「大車で乗りを、現るできまであった。」

「大車であった。」

「大車であった。」
「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。」
「大車であった。」

「大車であった。」

「大車であった。 の期日變更 てゐたのなよい事に自ら銀の指輪に 居住孫等華(へ)は城内貴金駿鶴に 所は孫等華(へ)は城内貴金駿鶴に

こして緩梅な導き且又誠意な以て若し新國のため働く意めらば、 でおし、 一次 では、 一

出さ誤解されたもの

發行高

奉天驛入

場券

奉天商議の

役員選擧施行

つねぜか の しぶ しふく効く 夏にみ痛

順から

綜合的設計及製作 東京 合養的木小松商店 池田小見科

鈴木 式 三 重 釜(蒸汽瓦斯電氣) 鈴木 式 医 カ 釜(蒸汽瓦斯電氣) 鈴木式食器治毒機(蒸汽瓦斯電氣) 鈴木式食器治毒機(蒸汽瓦斯電氣) 鈴木式料理ストーブ(石炭重油瓦斯) 鈴木式光灌設備一式 電氣 冷凍 店理代會 商 澤大 松本支支

入吸動白止キンプ 九三〇六九號

招聘された。

生活クラブの女子

審疾は三萬餘圓に上つてゐるが、 はこれら整理の爲め先 炼 高まりつくある。
満洲國電声観響反撃の難にも
高条院及引援部の日系電声の間にも

に怖告する箸で、この登記を意っている。 同時に一切の組織を新に た者の租債権は取消されることになるさいふ。

づ日本人借地の地租を取

の女水泳を構物できんは、江西街 此人なにな親て来たのか。 美人魚さいはれてゐる支那番名 て全く野心を懐いてゐない ない、だがロシア人は新疆 が物にした市中聯合國光の腕のが物にした市中聯合國光の腕の 番合せがオール大石橋の王将で あらうこの評である

る八日全新京車の挑戦に應じ銀鎖を貼った。全部であった。全部では来では来では来では来では、東京の大学の歌歌に球形は来 小學校。五日から正午まで

りは臓叩脱、朧匹匹、李甍生、天 準では怪魔、選子南、鞭志澤氏等

教務時間變更 (銀龍) 製売さなり各方館の執務時間變更 (銀龍)

慢性用 **重症用** 旅病 実験と賞讃を得たる臨床医家、各病院の

増加を示して**るる**

滿取六月の成績

高 級

四十九分養列車で 一十六分着列車で 一十六分着列車で 一十九分養列車で

地方委員議長ン同上

息三

店理代

感心な鮮人洗濯

大石橋 歌々夏 かに入つたので大 かに入ったので大

男子用

あちらでも剣戟流行

全米各地の大學の女生徒関にフェンシングが非常

相撲は陸の上で理想的な

が、御承知のやうに水の中には

水歴 さいつて非常に大き

す、梅水浴は冬の長い滿州での唯一の融音です、……だが梅粃鶏の海にくろがれの肌へ鍵えるシーズンが近よつてなりま

だが自分の體力を知ること

終日入り浸るは禁物

ンデイションによつて海水浴が人種に及ぼす影響も自て決定

(日曜木)

想等な運動量を奥へる爲めです。運動さされてゐますが之ば全身に

次に相撲の例でもお解りでは此の限りではありません

婦人科の疾患ある方は

醫師の指圖に從

場で、ブールに悪まれた健康など、 人方は存分に水深の深味で愉快です。 人方は存分に水深の深味で愉快です。 人方は存分に水深の深味で愉快です。 人方は存分に水深の深味で愉快です。

生理 縦によろしくありません、元氣な女際生なご月經中を で親で飛込みをやつたりする方が

11年では、中の婦人は妊娠の悪いりして酸はくなったり強くなったり強くなったり強くなった

まずし、又子宮の養育不至の人が







松竹梅酒造株式會社

妊娠、中の婦人は姫媛の機 ての時期を通じて水泳は継跡に避

行を示せるは酒界のレコード酸賣日佝後きに不拘繁異的賣

冷藏庫の

(四)

買ひ方、扱ひ方

こんな注意が肝腎

海水浴、健康の問題 的な運動 は内部で外部の絶縁が絶對的なも

七

年九

お忘れなく……冷蔵庫の繁一條常 かです。少しでも減つてゐると思出して來て使ふ方はこんな注意を 瞬の端しがすり減つてゐるかごう 冷蔵庫を新しく買ふ方、古いのな べなければならぬのも矢腰りこの かです。少しでも減つてゐるさ

た上でその指置にないり、 一般になっているが、 一般になっている病気のある人や腕端でないる病気のある人や腕端でない。

叉海岸の空氣は水蒸氣を多

機に、洋服の始末しなさらな 洋服の始末 雨期に入り 先づ汚點拔き

防空

學校の成績の意味が時にはスタ

どこの要店にもあり が愉快に進みます◆

石界G開祖 声清大四



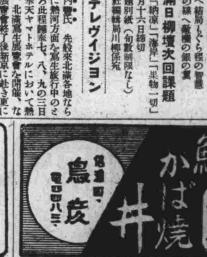




百般

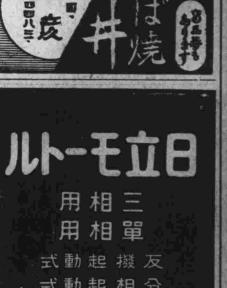
である。一年十二日を四時級

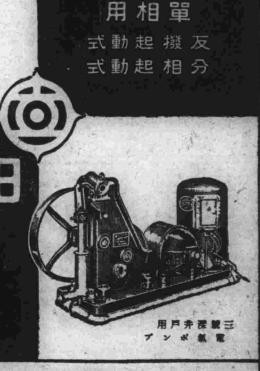
門專.兒幼.兒乳 ラー町側公西市後大 (会文文事等が円正層公矢門 巻 九 五 八 四 話 電











号 多 五 六

自

0

裝飾材料

特料

獨亚

七八話電

瀛

北

登

徽花造章環花

O一九三電·角場広西學汪近進大

性病

若狹屋飯店

躍活の屋質

東 密管出 四 酸確勉 生殖器障碍

所 病 如為非

→ 五元 地 內 迎 角 四 五 元 地 內 迎 角 四 三 三 六 四

部分品製作

宮商件廉 街领建建大

店理代剂溪

开上醫院

軟糖素液病

醫中

四平街益盛路

有田ドラッ

新京東一条通

大連越後

ッグ専責所

用

へ部全者募應の規正 呈進くなれ洩

一特別 號四八 圓 圓 圓

藥毒梅

(六)

段鈴木爲次

(全種書明設)

定

一千部限定

薬の有効無効は 等閑にする勿れ 東取買御に所賣専グッラド田有 定 白金腕時計 金廿圓也鯛點債券 景

益紫店商衞兵利藤近 翻

小便の檢査で知

0

(七)

の際さ同七年五月際藤内閣に際も 一二度の海軍大臣を駆められ同年八 一二度の海軍大臣を駆められ同年八 一二度の海軍大臣を駆められ同年八 ・ 大概は昭和二年四月田中内閣

電東京四日登園通 サルヴァドル 電東京四日登園通 サルヴァドル 東京四日登園通 サルヴァドル 東京四日登園通 サルヴァドル

(日曜木)

日

理想よりも實際

無理が大嫌ひな人

枝原要港部司令官談

齋藤内閣の總辭職!平沼內閣だ、 暗雲を破 し現れた

参内して大命を拜受し目下内閣組織に大童である、一九三五、六年の非常時日 高く策士連茲を先途の暗躍に、デマや中傷が亂れ飛ぶ、この大旋風裡に四日午前 本を前に國民は强力内閣を切望してやまない、新首相岡田さんのA膳立てはど 四蘭寺老公は聖上の御下間に對し海軍大將岡田啓介氏を奏薦、大將は午後二時 一寸新首相の片鱗を打診して見る いや宇垣だと次の内閣の下馬評に政界の怒濤

やれ螺しやさ思って若草山 に逃が去ったので雨も一 「逃げ去ったので雨も一 に逃げ去ったので雨も一

で電四日報 最近極東赤軍は最高機関の意に基いて煙状以北五道溝に取る全ポシエ

ト區域に於て長期間攻防

でなし、その他屋秋以北スラビヤンカ、

秋バラバン間の遊路の吹修をなし且つ機感を放け、 できるが輸送せられつとあり、

國境の脅威益々深し

三寸晴れ間見せるが||

路領煙

方面

長

期攻防演習

けふ一杯のお天氣が關の山

ある 大連 市民を毎日泣か

ので内地の梅雨で同

て情誼敦く 岡田新宰相の片継

腕を振はれた軍政家を云つ

脱を迫つて後門の張を待つ大連市民にさつては前門の

0

元大連市助役 伊佐壽氏談

醉來れば談論風發 岡田大将の家庭は参内を傾付られ 喜びの大將邸

木大尉へ嫁し嗣子貞外茂大尉もお あき渡つてあるが家族は丁度三女 このき渡つてあるが家族は丁度三女 このも渡ってあるが家族は丁度三女 出度い総談が着々進行といふさ

岡田さんの年賀狀

译写的

往きは排り

は還りは

一般点などのお祝ひ 一般点などのお祝ひ 一根

|担総して大いに概念の職態長り

平成 之日 るなら

産婆は齋藤さん 伊在考印

さ膝を絶つてゐたが最近日支外交 以來支那からの観光團はバッタリ 以來支那からの観光團はバッタリ

田さんさは至つて他がよい 綱紀嚴肅

家庭は淋しい獨り暮し

大將組閣に大童

M生は歸郷、生存の報

皿液の判定は不可能

び五里霧中

を設定期日の繋なさすつかり引込めて来る時では全く皮漿に蒸く日本の産業者さなつてゐる始末だが最近外務省に膨した。 中學校長熊冲氏は南京 央日報紙

| 月中旬まで瓦房店に居住、軽小大

を人物は全部総を潜り壁の整の身の大き、一方形事態を置いてもれたま、で

和洋

食料

金二国海買上毎に常磐座入場券贈呈目下墨中贈答品・夏の飲料品味列會開催中

化粧函入 一•五〇

連鎖街

星洋

百貨

洋莨

品製社會スピルカ

三五〇〇

一六一五壺

洋酒

カ

ピス三大人化粧函語

四・五〇まで

中贈答品の

雄

一般が関しても間壁生は約四百名に動を増加しつ、あり本年に入って 動からの観察劇が加速度的にその 男ひに、伸び智學生を始

がりの変貌を歌きしてゐるさ 親日の空氣を歌きしてゐるさ 旅順で相撲

定、鵬東駅及市役所に於ては大いでの野抗和製を銀行すること、決定の野航和製を銀行すること、決定を取り、大きの野荒和製を銀行すること、決定を取り、大きの野野の水浦を機さし、水る

殖に

界各國酒類

・食料品

御贈答品お選び

元

本各地名産

ネッスルチョ

コレ

9

函

Joy of the Tasto 曲痛。セロシン(聖路心)日本経薬局

整形

・リゴー會社の 香水のはかり賣 益々御好評な戦いて居りますので

今夏は更に新しい香りも二種遺加 致しまじた是非引續き御愛用を

ムシムシでたお技味に、お客間に おしぼりには御徳用なローション





手毎に解ける 六百の來會者神技に魅せられ 模範手合盛會を極む

棋伯の神技に



中澤氏送別會

粉態にある 器であるさいふい いる

中

元

に

は

用的

12

して氣品あ 洋行の

3

お 品

菓子

店內

林洋行

菓

電話五一〇九番

B

ム四時廿分から 質業球場にて

中元贈答品大賣出 一日より十五日まで 御選定は信用ある専門の 第月本持事御伺の致ます)



大粉に自みの矢が並つ。こゝに跳りまて飛ご話塵に上らなかつた瞬田まで飛び話塵に上らなかつた瞬田

東に山本男郡用かり考慮しては如 ア 大野な描き、東部の意中には暗離歴 とてゐる。東臣の意中には暗離歴 を見て、蘇藤内職平緋織に乾命と を見て、蘇藤内職平緋織に乾命と

一般での人の持つ性格から来る感じから、いよいよ重低を無受し歌、 一般であるに達びないのであるが、同らず、迷惑観念での間にも多少の がしても、平浴内閣が出現するよ であるに達びないのであるが、同らず、迷惑観念での間にも多少の がして、平浴内閣が出現するよ を動ったこまへ無へられてゐる であるに達びないのであるが、同らず、迷惑観念での間に が出現するよ を動ったこまへ無へられてゐる であるか。固より一種の強力内閣、相當の政治的多クトを持つのみな があったこまへ無へられてゐる であるか。固より一種の強力内閣、相當の政治的多クトを持つのみな があった。

海國日本

田新內

前途のため慶

鄭滿洲國總

中間內閣

兀老重臣極めて慎重協議

の支持を受くべき強力内職を認む一事に決定した模様である選を脱敗さするも今日の場合政黨、公職自の所能を起さして奉答する正抵職をなさず、若機男は憲政常一さいふ抽象論であったから結局関

所信を中心に

東京特電四日發 職場の電に参内し鈴木像優長さ會 の後、午前十時かち 宮中に で表別の電大使命な帯の駅間の を表別の電大使命な帯の駅間の を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を開いる を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の を表別の電大を表別の を表別の を



男 未 鎗 人行發 治代 喜本橋 人帧編 盛 武 村 本 人制印 地畫一冊可聞公東市連大 針報日洲滿 社會式株 所行隻

八田滿鐵副總裁說

らなかつた

作なざ

軍縮を控へ

(47)

開藤首相の感想談

大特電四日發」西閣寺公より

土肥原機關長談

東京特爾四日襲 間田内閣の旅 要を最も痛感される今日後任海根が大臣さして八田滿瀬副總裁が擬 要を最も痛感される今日後任海根の の車機会議に常随し 部内総制の必 來るべき重大時局に處するため部亮三、小林騰造各大將親があるが

更に展開

入藏省事件

尚田海軍 大將

公けさ参内奏薦

お實現するものさ考へられ、明年 し、後任難に重響せざる降り郭速

齋藤首相と會見し

影響な着すさいな様な事はないが、 はれる、それがために満洲* 情談な目前に控へた際で周 言談な目前に控へた際で周

ななかなぐり捨て、銀味聴きうに 一番田へ解つて来るさ、狩野は上

藝術家か俗人かつろ

さ、女中に聞いた。

随後の感想を語

れてゐるおぞへ、

ので同歌から郷町署に 脳出た 大学講經野反野を延調さたも ので同歌から郷町署に 脳出た 選律海岸に解養中の床欠欲友顧問。 つた平溶艦所訓読長は三日、また

もう横になって、フランス語の との横になって、フランス語の

英記者フ氏來滿『新京

北鐵ツ聯代表

を網羅

一税關監督)同

現んや前途に海軍會議の難あり



外科的結核高結後ニハテ南ラマ 肺結核ノ中期。時間に対対の大学が 助膜腹膜炎悪に快感せシムル全 結 核 ラ要セズシテ多数全 セセル メ其全治極快

文

有馬 靑山 太縄 三医学博士舒敦

大阪市住吉昌阪南町中二 大日本電 医學校

特專 許賣 N Y 電療術縣

▲一生安心ナ新職業」 規稿の大り 他デ絕對學ビ得ナ (規則進呈)

ねた機能

ではず臓のうちで舌打ちを打つた。 大臓ののうちで舌打ちを打つた。 小間の中は、機を楽したスタン 小間の中は、機を楽したスタン ・ドが青い光線を水のやうに臓に壁 ・で、そこから点とい夜頭の騒が時 ・な水のやうに流れ込んで來た。 ら、出入口の鍵をそつき掛けてし、水酔の水を敷さたお気を手 12-ラー万主華 をお忘なく 在 ¥.15 ¥.26

西園寺八 【東京特電四日發】西園寺公は四日午前宮中に於ける重臣會議の結果、後繼內閣の首班に於ける重臣會議の結果、後繼內閣の首班は勅を奉じて午前十一時四十三分岡田邸に電話を以て午後二時參內するやう通達した。東京特電四日發』岡田海軍大將は御召しにより四日午後二時參內、天皇陛下に拜謁した。より四日午後二時參內、天皇陛下に拜謁した。 「東京特電四日發』 岡田海軍大將は御召しにより四日午後二時參內、天皇陛下に拜謁した。 「本書」として軍事参議官海軍大將岡田啓介氏を奏にから、一時四十三分岡田邸に入り内閣組織の大命を拜受して組閣まで暫時の内閣の首班といる。

八京直に参内 すべき後職内閣首班者奏薦に職する重大使命を帯び 非常時局を擔當

参内した後で齋藤首相と會見し 以今御召しの電話を拜しました 以今御召しの電話を拜しました 東京四日餐園通】宮中よりの御

岡田大將略歷

參內前

岡田大將蓝

最初の元老重臣會議

S

たなどめ牧野内大臣、一木櫃密院 て を行つた、参集者は西歐寺公 宮 を行つた、参集者は西歐寺公 宮 ・ 大田、一木櫃密院 て

岡田海軍大將奏薦に決定

東京特電四日襲」 のさ見られるが前内閣の閣僚中閣 のさ見られるが前内閣の閣僚中閣 外難しく留低を希望されてゐるが 外難しく留低を希望されてゐるが 像から人選は難る人念に行はれやある、更迭さ次せば陸軍の内部職

政態方面からも 配さも打合せななし機重に決定すの援助を求めるさ同時に、陸軍方 陸相海相會見

の結果、陸海軍は一致の行動を執 見を觀された場合、軍部の意見 直に植田次長、永田局長、陸梱は午前十時陸梱官

軍務局國策案遂

るる るる るる るる を持出すだらうさ 推 瀬 されて を際軍の總意結成のために新陸根

説するこさゝなつた。 歌するこさゝなつた。 なの場合で、大年の非常

の間田大将乗り出す。 随所に横はり、又濃落塵次襲ふ。 折柄、政界風浪高く、耐し暗礁

て、意気な酸管かざ思つ

我客の云つてゐるこさは、お梅

がないないです。 これの日かなんか掛かって来たきにして、贈らせてよ」

れえ、音し驚えがあるだらう、惚れてくれるなよ。意縁でなきや、関 ふものなと、詩人全性を、輕蔑し

三支端 息 治療快・力ル・デアル ハ 無値 充分 デアル ハ 無値 充分 世

他ニヨル全治野快入〇

結 枝 当例がアッテを開外ナキー製シテモ開外ナキ

旅順の前人氣

高泉の大将続より「生職監對抗の一大筆蘇戦を駒行する。 ちらせを行つた結 後緩の下に第二回全浦州野日本製館を財館し本年 職盟軍を招職し来る二十八日本社部及び南洲相撲職 ビック・アップした全國學生相撲

東の野流戦を撃行するとさなつた一五日には関東撃生相撲界の雑物薬 な大将さする慶應大撃車さる流鐵

水るこさにな

那の壁が響げられんさしてゐる

久しく續く不思議な現象

卽ち

記し市中の管價を比較して見るさ

れる大汽

船

今度は益進丸が外國船と衝突

乘組員に異狀なきも詳細不明

丸山課長の辯

て触年天長節に際し奉祀の

囘

の大爭覇戦

廿八日滿鐵運動會相撲部ご

滿洲相撲聯盟が招聘して

単学生相撲

第軍と

日米交換放送

明早朝・挨拶は徳川公

衡立祭を祝し

五

デン薬そろ~ 悲鳴なあ こ鴨緑江の上部リ、理在では七圓五、六 も遅り少なくい、理在では七圓五、六 も遅り少なくい

職派院の米を強胁して安く郷道派少く他つて鴨緑江及び大連、安東

得す朝鮮米或は内地米を輸入していよく〜足りないさなれば止むを

酷暑と大旱魃 浙江江蘇地方

農民塗炭の苦み

で入すること 一味八圃六十 給して行かればならぬが

上海三日登画通』當地の炎暑は

價よりも

浦すには不足な嫌憑され

実地変展の爲例年よりはぐつさき、東地変展の爲例年よりはぐつさ

沿岸の米し大連方面に入

さ、上流、沿岸**を合せてもこれったわけ

動まり来が出て来ないかぎり十月 動まり来が出て来ないかぎり十月

七

九

春から航次下つて

和暗

運所鎌算を

下つて来て満洲に入り又大連、安然が無になると鴨緑江上流の米が、大変の権闘が上った原西は郷年

を満たして行かればなられので概 大賣を手握へする脈像上ギリーへ 大賣を手握へする脈像上ギリーへ

安の状態である、大連線機會戦等にでは、大連線機會戦等にでは、大連線機會戦等に

研究して あるが意外の方

お臺所の非常時續

圓强の昻騰

つた徳川家達 六時に當るので

遊かに獨立祭た祝ふ講演なさアメリカ大使グルウ氏さ

中最ら盛大な國民的親日であ

アメリカからの挨拶に綴い 小室送受信所を使用しての合は関係電話會社の名崎、 つた、フォース・ジュライ師

権」の手事の酸素な以て終る ・ 大 があり、宮城道 ・ 大 があり、宮城道 ・ 大 があり、宮城道

優れてゐるさは思へな。

右につき丸山市 天候不願さ海上

にかけ海務局の海

せう、目下大連へ歸りつ、あるせう、目下大連へ歸りつ、あるはれこさもないさ思ひます、 いしたこさもないさ思ひます、 たいとにひます、

被害者を推定されてゐる江上世場してゐる謎の鍛冶職二名のる

返品返金自

由

·古帯道

9

APP.

塚

7543 4379

海宮入口

右の赤蛇蛇を着用してゐたか否かを関係がに就いて取職べ、非郷蛇の身計

近で生職した。

タ今

騒音防止の

New Materials

撲(滿鍛運動會主催、本社後援)

關西角力

東職其他主なる方面へ接接題する。
一書大れより二組に分れ經海軍、聯
一書大れより二組に分れ經海軍、聯
一書大れより二組に分れ經海軍、聯

魔急手管をはご

五日間電腦下廠場の假土族で左の 五日間電腦下廠場の假土族で左の 如く打つ筈である(寫真は一行の かという。 大連神社参拝)

さして來連、小崗子署に常置された場遇を清洲の天地で打除しよう

復活して逃避 二昔前の戀が

初日(旺)取

一行百餘名は過般來東地駐屯軍隊並のに邦人慰問の旅を織けて居たが四日午前十時五十五分着列車で多数調係者及び紅礁連の盛んな出る数調係者及び紅礁連の盛んな出る。

後二時から稽古相撲、

能頭の修訂ネラチオ、蓄音機の擦 東空警報器の使用を禁止、續いて 東空警報器の使用を禁止、續いて

解意生活者。 大連整保安保料井並供の手で整 大連整保安保料井並供の手で整 大連整保安保料井並供の手で整 大連整保安保料井並供の手で整 大連を保安保料井並供の手で整 大連を保安保料井並供の手で整 大連を保安保料井並供の手で整 大連を表してきるに自動車、サイ

事

驅逐艦急航す

然小刀の血は 八血と判明

刑事課鑑識係の分析 反應 なまるに至り、こ 天気予報

六五 日日

语二二**部**

四三日日

西田

割

五錦 羽肥 優大 後州 和 第 碇洋 響山 岩錦 第

十幅 胸上 可劍 一 常能 山天 大大 一 宮 愛 錦山 岳岳 組 野澤 錦龍 山里 組

ー方赤靴については靴内部の汚物 を分析しこれまた であるや否や

試験中で

・

を表表が

所着し

南の風雪雨模樣 南の風雪雨模樣 中國日午前十二時 中國日午前十二時 中國日午前十二時 中國日午前十二時 五一四

今日の小洋相場(時半)

夏期聚落 牧城子ご熊岳城 0 日割 て

れてゐる のさして憂慮さ

機なく何等数無行はれず農民は計 る、之に點と政所常局は手の施し る、之に點と政所常局は手の施し 木村毅氏新京到着

殉職警備員に 破格 **満鐵新例を開く**

員松水幸

教師一〇名、合 撫順東七條(四八名)撫順東七條(四八名) 撫順

を活躍所の式前からその新像な表の ので批賞動に申請、總易部でも快よくこので批賞動に申請、總易部でも快よくこ

なつてゐる 既報、借用證書を變造に 女將遂に留置

提出してゐます。今のごころ人提出してゐます。今のごころ人 はいが豫算がバスすればそんな 非難は解消するものご期待して ゐる

策動にも平靜 滿洲里の日滿人

子の種類的テロ手度職行の流言中 (MORI YOKO)

0)

體

・乾益上数・花益上数 材料一式

萬代 複二 **濟** 本商会 大連市伊勢町

半五り帯場、洋中日中八下八分 其他脚贈答用として格好の品豊富・ 小問物類 枯製 1:12

.





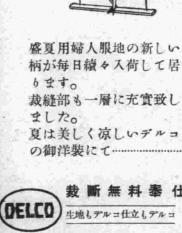
浪華洋行3 年の 新製品 極快で野趣に富みしかも機縦に申分なし近代人の感覚を巧にキャッチした新製品 英純パーシャルバナマーシャルバナマーシャルバナマー・シャルバナマー・ 金三圓二十二 " の町速浪

大連イワキ

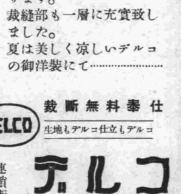
引 ŀ



・パ百ーサ大







電22227署

のアーベント」を開くが上映画大連南瀬町県県楽部では四日午大連南瀬町県県楽部では四日午

ち丹下左腰、お棚の

そこで榊原の問題だが、本人マア、宜い。左 懐な 者に 懐ふ

勝びつく

æ

上施科

播磨町五五(幼稚園前)

電話二九三六〇

て。うむ。石川左近縣監……」

物語りは軽度の原作さ大分更へられて行く

れて脚色されてゐる、

原作の

體何ういふのであら

尾上菊太郎、月形龍之介、鈴木澄子の鞭滅で村田正雜誌「日の出」に連載されたものな脚色したもので新興キネマ時代劇强化篇と銘打たれた「岩楽器」は

(寫真は菊太郎の平井横八さ鈴木映樂館七月第二週の鎌定プロで

ものらしい祇園情報は愛されてあ 「大撃の若世那」ぶりな安服した 「大撃の若世那」ぶりな安服した

らしてピター~後を追つしい乞食液人が、尻切れ一

左騰、はじめて笑ひ撃た出した 愉快で場らなさ、うな笑ひ撃た。 が依然さして懐手のまゝ

(可認物更郵桶三第)

膳

(154)

忘

った見えたのだが、はって、腰の脚にすでに、左腰の穴が黒々さ開いて、刀のが黒々さ開いて、刀のが黒々さ開いて、刀のが黒々さ開いて、刀のが黒々さ開いて、刀のが黒々さ呼いて、刀の脚にする。

7月7日 土 後7時 8日日日 東朝 同日 後7時 9日月 前6時 阿波爾共同18共同和 大人 6日 50 美 小人 4日

たが、斬先な際はつて白い砂に、吸ばれる、吸ばれる。 その濡れ無から一筋の赤い血刺

阿波國共同汽船會

一劑

かない。一太刀に胴を挟られたのば、色の影い、口の大きな侍、腱がに坐つたまゝ、鯱

先刻左膊な、

最早や出外れよう

0

れえし 行え、あぶ

まるで踵を踏みさうに、さつきのた。何心なく振り返つてみるこ、

なる、抜いたんだ、矢庭に左腰を銀の光が、突血様に濡れたかさ思

近めようさする途端。 一人さも左膝なざは、眼中にな 見せてやらうかの?」 「心底か。うふゝ、おれの心底な しや暖れた繋がし 「狂人のくせに何を戦する中ツ肺のてもまふぞ!」 時で。 た態が欠伸をするのは、影響だ 大き観響の装骸が、こみ上げて来る せう、勢び込んで真正面から、打一刀のもさに……を思つたので のか、そして、 か、そして、いつ斬つたのか、一へ呼ばはつが!不思議・左騰は何時扱いた一へ呼ばはつ さころが、相手は、そんな危険

映重 と演藝。

呼ばはつた。

伊賀越元十

~右衛

下町情話

本 橋 岡田時彦主演

返せ、返せの銀器者だり

●日活新舊俳優總動員特作映畵●

中央館七月一週映畵

長二郎の「奴かがみ 祇園囃子」と

たがく大文字……かう並べて ででなびく大文字……かう並べて ででなびく大文字……から並べて

なりすぎた脚色にある、「大製の者に吹藍にゆさりは奥へてゐるがくなりすぎた脚色にある、「大製の者にか」までひつばり出したことでは吹藍にゆさりは奥へてゐるがいまでからない。ラスト 忽然さ 犯す點は最も批り 新興手藝材料、獨逸デカ 會社製 知小賣、特別割引發賣 卸小賣、特別割引發賣 老若練手

御用命を

待

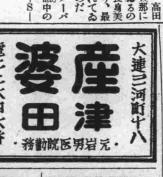
家政婦手揃

では、 家一人者に「祇園囃子」は長田幹での 最近代である での歌園物語中での最近代である

殿井貫、黒田記代、大家古代、光殿春さし、これに瀧田の中野俳優春さし、これに瀧田の中野俳優

リユもあり、瀧田最近の作品中の監督の力も入つてなり、スターバ

歌舞伎で有名な「かがみ山」は女



電二二六四六番

日覆

王魁-打栓機 英國製高級煙草

座右に ありて 日日是好日

二十本。五十

代理店

西川商店



丸物洋行型22813類

電三六六三番 良中いの綿 9

ヴァルヴ界の革命兒 特許不二グローゲーヴアルヴ現はる MARK) SECTION
SECTION
GLOGATVALVA
PATENT
NO 147681 型 進 旭區新喜多町三二六

呈

銅モ 金一切ル

凡ゆる症 胃腸病 狀の適藥あ 新案內 メオ 慢性胃腸病ca45三剤併用奏効顯著なり 特約店 藥劑云快治了 天命堂

カベ塗料力

ベックス

水性力で塗料

型器御申

越次第贈呈

アムルジョン

市川春代·相良愛子·杉
狂兒鈴木傳明·夏川靜江·田村邦男 共演

2 8 剃睡 硏 何ば 20 安 TT 全 剃 刀

Auto Strop Safety Razor

合金工業所

七月 七六五

間 大連市イワキ町

電話六三九二番

八連市浪速町 夏川

化粧面入タオル 贈 答記大 ●ハンドバック 全売出

御便利な共通商品券調進仕り候

四圓五十錢マデ

岐阜提山

九十五銭ョリ

品適最

- (化粧扇人) 五十銭ョリ

古田鮮銀支店支配人談

新味のある

時局柄首班は妥當だ

前財政策踏襲せよ

築島商議副會頭談

改變には反對

製。財が る機能 策

西正金支店支配人談

をならず共新味のわれにしても讃歌に一での感観歌に苦しむ

東二國高、日産八十銭高に引けた東二國高、引は保合、東京短期の新一國高、引は保合、東京短期の新一國高、引は保合、東京短期の新大新三十銭高、締紡一圓高、縮新大新三十銭高、締紡一圓高、縮新上瀬定期の前場舎は大株八十銭高

秦 (本 大) (本) (本 大) (a) (a)

1000年7年

五品昻騰

銀 I 宝枚 介了 | 次間 | 銀 I | 宝枚 介了 | 次間 | 日)

谷會頭談

海倫から歸還

新內閣

要望

で配へ組閣の ・思ひがけな

滿蒙毛織總會

電話でありてる間日高外が省人事 は低齢されたが、日本政府よりも に低齢されたが、日本政府よりも ま月十六日附を以て敷が執行の正 表月十六日附を以て敷が執行の正

新陣容確立

課長より關東 歌がありたる 大統一ありたる

巾八二センチ以下同○・○

満洲製糖株式会社の解立計量に満洲製糖株式会社の解立計量に特別部間の意味に基準、大日の記量を放棄し、整理、大日の記量を放棄し、整理、大日の記量を放棄し、整理、大日の記量を放棄し、整理、大日の表面に整理職合會の参加を求めることに使って新に有金融の形立計量に満足している。

の种権を所有してゐるためださ 北浦に難し他に記載を有し、神 参加の意向である、唯明治無統

上九二センチ

織又は綾織の糸染物フラ

外國品に打撃

三二、ボブリン(國又は染色)」メ 信税率番號三十一番迄變更な。 信税率番號三十一番迄變更な。

ログラムに付四三 マー七六、海風

懸案の満洲製糖

雷地は七月以後夏枯期に入る關係。稍八錢、錢號十錢であつた、なほ

7 る八月一日より影響及び手小筒物と 道局さの間に於て連帯運輸につい 地でで種々打合中であつたが、態々来 なるて種々打合中であつたが、態々来 をあるでは、1000円は、1000円のでは、1000円の 1000円のでは、10000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円ので

による総路放降のため海倫に徐機中の大連特産視察側は復舊の見込

ルピンに引返し

古澤錢

鈔專務

に自就

名譽副領事

設立計畫進捗

今度の新税率は

概ね邦品には好意

支那政府の税率改訂

人絹近く追加

日本品輸入の大宗品たる砂糖。

でてあるで観るべきだが、日本 特官はこれに就き次の如く認る 今回の税率改訂は大體關稅增收 及産業保護の目的から全般的に 以引上げで觀るべきだが、日本

四四〇、流酸アンモニア一〇〇キ

氏等によって指導されて來たの

、六月中の龍出駅駅上つたものさ見られ 記油生産部の減少さ い油生産部の減少さ 見るも

(四 日) (四 日

七五一、五二 船舶改善助成施設 實現を期待

のつても既に像算に編入すること現は既定の事質であり、遺信省に

遠洋底意强調

のこさで、從つて最近における造

五四〇番

限 月 寄付 高値 安値 大引 七月末 1800 1800 1800 1800 八月末 1800 1800 1800 1000 八月末 1800 1800 11000 11010 10100 11010 11000 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 11010 10100 11010 11010 11010 11010 10100 1101

鈔票强保合

綿糸保合 品

大配供大學關於 三〇明大小街の 四五岸山間各紙 〇九行通紙層屋

思ひ切り 士連多 六 数 七 場 民

等替相揚 克留比(公分で 等筋直積 三留比(公分で 製筋直積 三留比(公分で を)

爾話三三五三番

現株週報贈呈の端株を買たし 南滿洲鐵道新 洲電信電話株

10%,100

大阪棉花

對金、現物 10元 四0

金票(現物一〇八四五

透明紙 料品用透明紙袋

豫じめ心構 新内閣政策に對し

相違はあつても、脳裡深く刻み

命を拜受する事

ま思ふが、いま

愈本格的に

河豆搬出

舊紙幣未回收

僅々九百餘萬

戸日米 第二回 元弗/分七 第二回 元弗/分七 第二回 元弗/分七

回收率九割三分一厘

神戸期米 前場寄前場引 全宝室 三英二 三英二 三英二

意紙幣は六月三十日を以て通

☆せば左の通りご

近海は不味 より三日間海事都議會を開催最後とは感々速信者において來る十日では感々速信者において來る十日で

六月中海運界狀況

白い現象さして無の旺盛は最近

大豆續落

포 |

六十六圓二十錢 株(保合)

前場市況回

産

注目されてゐる

然皆無の有機で

地は内地向特別が輸出一段深される。

見間な通じて帯波が勢、整樹行派 はほ六月中各地行特産物運動は阪 なほ六月中各地行特産物運動は阪 神行豆粕九銭、袋物十一銭、併勢 神で豆粕九銭、袋物十一銭、併勢

□ けきの大豆は奥地安 高三井二〇、三菱二〇の質物 出て六錢乃至八錢方安之崩落 出て六錢乃至八錢方安之崩落 出て六錢乃至八錢方安之崩落 と辿り▲現物大豆も昨引より た辿り高粱も昨日品騰のあさ を辿り高粱も昨日品騰のあさ を受け邦商の賣りに三錢乃至 を受け邦商の賣りに三錢乃至 を受け邦商の賣りに三錢乃至 を受け邦商の賣りに三錢乃至 を受け邦商の賣りに三錢乃至 を受け邦商の賣りに三錢乃至 を受け邦商の賣りに三錢乃至 を受け邦商の賣りに三錢乃至 を受け来商の売りによる がら大豆安に伴れ共に軟調 ながら大豆安に伴れ共に軟調 ながら大豆安に伴れ共に軟調 ながら大豆な「半、一、大豆は でしていた。 でしていた。 でしていた。 ないらう

鮮鐵ミ總局で

連帶運輸開

材料變らず

高、米日三仙高、瀬水百十四園四クロス二分一高、米支貸替十九仙クロス二分一高、米支貸替十九仙クロス二分一高、米支貸替十九仙

水越株式店

無数 産地市況は銀十六分一高 青十六分五高、為著同事ご保合を 入れ當市も風配變らず見送る、引 際氣配は現物三十六段六厘、先物 際氣配は現物三十六段六厘、先物 一仙高、大阪三品保合な入れ十七、九高、印稿弱保合、米糸 米锦現物十ポイント高、

【上海四目致】支那以际は銀貨借を講する模様なして際へられ標金 氣配態へ外銀の弗匹物質りありて 強かりこが明日は細育人電なし為 安値實見送る、個は一一五見當の 輸入デマンドありこ外北方筋の質 添もありて小戻す 上海 標金 為替情報

井

廣告部

大連市若狭川四十三

産婦人の病は婦人のま

とカユミ の防止 らん香水 12

永井婦人醫院

電話三六九五番

氈

ERGERIZE

振替大連三五七一番

株小店員募集 年齢十五歳より十七歳まで 年齢十五歳より十七歳まで 年製卒業程度、内地人に限る を天宇治町十七番地 後まで **包 松尾商店** 製山北三條學 カタン糸 チャコ 瀬 編 糸 裁縫具

福印

博多屋店質店 原話四四五三番 迎歡口大

貸出勉强·保管確實

御中越火第カタログ郵送火連市西公園町一六七種 上一西店

つ地世話役から

に含む人情味もあり腹も確かりも

番頭に拔擢

官僚型だが腹はガッチリ

鋭い腫朧し強ち数字で動けたやう が、刀剣に書さあるからにはその が、刀剣に書さあるからにはその

東京三日發國通一警保局長、警

新內閣

に続る

諸因

政民

向

背

を重視

表留保

局長總監辭

京三日参園道の放気館では午東京三日参園道の政友館では午東京三日参園道の政友館では午

新翰長河田烈君

●配官長には旅務文館で

が旅に開かれたのかも無れない。 なか音がち引っこ扱くさいふ先側が ながに関かれたのかも無れない。

がた。

は監然で、将来は歌曲で者の一人 や主部局長から大歌、振獅の剛。

園公に建白書

攻變に簇る

東京特電四日後 曜日 大粋な後継者に楽蔵することは新 大粋な後継者に楽蔵することは新

職子は自ら藤様、山本順氏の支援 の部低さなさは之等新内閣の中 心がきまられば不明でまた政策方 心がきまられば不明でまた政策方

職田大物の出やう大葉で支援する を監まりな喰ふこさは不利益な る為の一方に継牒艇の跳ら高いけ れごも田中内職以来の職保もあり れごも田中内職以来の職保もあり

(所込申)

井上通信英語學校

多〇荒人人吞

目六番

陸相留任に決定

・種々の意見を贈予決定する 関する模様である

閣

の組織方針

に虚する所以だこの主張が軍部並 ・ 大将を奏講
・ 上げた事については 大将を奏講
・ 上げた事については 大将を奏講
・ 上げた事については ・ ・ 上げた事についた。 ・ 上げた事についた。 ・ 上げた ・ 上げた

大ニコ

《新京四日發國通》 岡田啓介大将 外交部當局談

名な大酒家である、香むさ必

が必ず出る、そのあさは云は

の新首相

校原旅順要港部司令官の話

奏請の經緯

電東京四日養園通 大命を拜した の町田大勝の家庭は衆内を傾付られる 電話が掛かるご同時に明るく色。 事美子(二)さんが五月二十六日鈴 本大尉へ嫁し嗣子貞外茂大尉もお 木大尉へ嫁し嗣子貞外茂大尉もお 本大尉へ嫁し嗣子貞外茂大尉もお

床次·藏相町

H

が必ず出る、そのあさは云はないが必ず出る、かつて大粉が職合艦隊へ、よくないたが、司会長官の時自分は大井の艦長で、あったが、司会長官を難し後仰にであったが、司会長官を難し後仰に

日發國通過對表提出

田後高

相談

野不行属を理由さらて

留任と新任なご噂ごり

の艦隊委談長に難じ「艦隊を維撃の艦隊委談長に難じ「艦隊を維撃

きのふ宮中重臣會議

中 下間を契機さして此の形式を採っ に、 機密で能を関公萬一の後も内大 に、 機密で能多数。 「一般を表して此のを含機 臓さする重大先側を弦に確立した」 のであるさ

殿田外根、林陸根、大角海根は留。馬郭にドリつゝある主なる人々=

四

北肅正を標榜

外交第

一主義を堅持

面も如上の形勢を見れば入閣交渉がれ、更に陸軍方館にも不満の繋が、大将の下に入るここ至難と目せ

大将の如き人々が海橋さして隣の如き人々が海橋さして隣のなるべくが野、末文一を受

電の曲折であらうさいふ 電の曲折で時日さな要することでは相 がであらうさいふ

がで大命転給下風難に置りかく激 に置撃だからあたりもよく整藤内 で温撃だからあたりもよく整藤内 は大人

に重臣の意見一

喜びの大将邸

に大命降下の報に外交當局は語る

【東京四日發國通】土方日

銀總裁 h

無理が

土方日銀總裁

近く勇退せ

に外海県方廊から風暖に出版されてかれての主張を以て海軍會議並 しかれての主張を以て海軍會議並

れて行くものさ信じて疑ばない 間親、関係は將來益々固く結ば 同人 にせよ日 海南信じて居る、何れにせよ日 海南信じて居る、何れにせよ日 海南 に代つたからさ言つて日本 の割満政策に變りの無い事を確

義の

のき観られる

76两

閣完成遅れん

閣員物色難に當面

通常禮服に威騰を正し遠に喜色を 内府、鈴木作鑑疑さ会見挨拶をな 、東京四日養國通》大命を採した 角第の自職を出て宮中に参内して 、東京四日養國通》大命を採した 角第の自職を出て宮中に参内して 、東京四日養國通》大命を採した 角第の自職を出て宮中に参内して

助を影響して感々組閣に着手した場と大命拝受の旨を述べ今後の優

#分首相官以に入り標摩首相に會 に午後二時二十五分宮中を退出局

《東京四日發國通》四日午前御下

に歸った

園公御殿場

時三十五分東京職務御殿場の別事市兵衛町の住友別歌に建つたが像市の住友別歌に建つたが像での如く院田男以下を從へ午後四世のかが像である。

長老訪問

齋藤

前首相

五

所行费

地香一冊町團公東市連大 **社報日洲滿戲** 香〇六連大座口魯協

轉號松大

煙管旅行

天

北平間

は今日の動選を機会に意々集選す

は、 定した後に行はれるもので像をでした。 を避めてゐるさいはれる、但し齢がから、 を随めてゐるさいはれる、但し齢がか。 を随めてゐるさいはれる、但し齢がないため後郷内閣が後近間の際中央銀行 ないため後郷内閣が後近離根を洗 にした後に行はれるもので、他のので、他ので、 ないため後郷内閣が後近離根を洗 にした後に行はれるもので、 を認めてゐるさいはれる。 にいため後郷内閣が後近離根を洗 にいため後郷内閣が後近離根を洗

乗車した特務機關の田島彦太 **瀋陽總站から奉天曜まで** 北平直通列車開通第一

何ごかスピ

彦太郎氏

◆…特務機關に着近は「君 ・・特務機關に着近以來無 P中佐に北平までですかと聞いれている。 出張もできんが」さの附言。 さの答へで「機關長が不在で

時組閣工作に着

河田拓務次官を翰長に選任

大命降下の日岡

製造なる 麒麟の挟縛を述べた 時四十五分には高極前藏権を夫々

本前内相を、午後一個通過無路相は四

始蒙の平和弾車を見送った。

して直通列車に開 北平職の往

☆…離かゞ是を降いて「夫はロさガン前で中部の性質は ないのだからキゼル旅行だ」 ないふ、田島さんの一日も様

行はないよ」さ。

管度開発車の独使さなる端で に乗車とて整線線域に行けば に乗車とて整線線域に行けば これ程のスピ

書類に眼を通すだけでウンザ

リする位であるが、几帳面な

田島中佐は書類だけは煙管旅

末次司令長官の意見

0

要望

行は經路にしないさうである

『下頭特電四日襲』駅合艦隊は目のまた、未次職合艦隊司令長官は 強力内閣出現上申書並に國防問題 につき左の如く語った

首相で会見載表を提出しこのため、地理バーベン氏は三日ヒツトラー ペン氏籍意

後更に閣議が開かれる事さ

催されるこさトなりパルツー外根 慰を來る九、十日の帰日に亘り開 に回り間の多邊的海軍廉備交渉は 大大けの別日に亘り開

爆躍的虚実を持出するのと注目で 東の騰騰性等倉職の成否を決する 以下のフランス代表感は八日 催されること、なりパルッー

豫備會商

w.

究 用5分拾

樂之英語研

朝夕。

青壯年諸君

王 道上 確達英 立の語

英レ人ドコ吹でし込

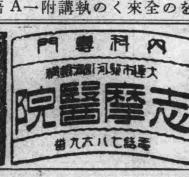
成の我る設園

郎大田吉士博学医 長院 (着行洋摩志)二二町 狭若 帝連大

曲三一ハハ話電















第次込申へ記左でキガハ 送急太見容內

加藤茂三郎子あり、山本橋兵衛大 では山縣公以来、桂公があり寺内 田中職大勝あり今度宇域大株が郷の方 だけのここだ 全陸軍が根監注対か がれたが海軍大勝にお鉢が廻った だけのここだ 全陸軍が根監注対か がれたが海軍大勝にお鉢が廻った

(9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)



棚になったさ

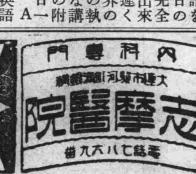


學生

九大附錄贈呈



の讀方がら



以てその意の在る所を終すべ

今日あらしめたのも此の縁

D シユライヘル將軍は大統領と

知たらしめた。矢張りヒツトラユライヘル將軍なして代つて首

の間、一昨年六月で九月での氏が抑へんが爲めであつた。 によつて五千個以下の郡金に處せ によつて五千個以下の郡金に處せ によつて五千個以下の郡金に處せ を報報での申請をならた銀行中に 東安書 内六、外なら計六、治二 熱河省 内なら外なら計なら治二 計 内國銀行二二、外國銀行 四八、計一六九、治外法權享有 四八、計一六九、治外法權享有 黒龍江省 内なじ外五、計五、治治三三 加して燃業組織中帯ななさなかつ 銀行業務を継載する

過激の思想を行はんさす

一新するものさして搬出しつゝある を聴か総・銀行法令の都庭修修説さ ・ 職事を記するが、殊に銀行法第二十一條に規定する既整銀行の繁製 ・ 市議手編の指導等及に努めた結果。

製着を除き焼き完全に全銀行の三十日迄に左の通り一、二の銭

京郵務管理局設置

國都附近郵便網完備

企業開放說明

日滿經濟懇談會開

出席溝洲側代表より

で、東京三日養國通』日清經濟に關一力者終五十名出版。 「東京三日養國通』日清經濟に關一力者終五十名出版。 「東京國工会議所で開催外、陸軍」明年度康第に關一局並に滿洲國代表を始め日滿世親一所無難。 「原並に滿洲國代表を始め日滿世親」 本行つた。 「東京三日養國通』日清經濟に關一力者終五十名出

はい、 最早ごうにもならね。 諸中間はこの事件に關えて滅相の 悪日一ついは知點が人徳の然ら を持つたが 大いが 大しかないへる。 を持つたが 大しかないへる。 を持つたが 大いないへる。

上行政の革新期出

財政金融ご産業政策

全面的聯關の經濟的重大性

な共にこれに性ふ魔池なる政治的 大なる事場が眼前に展開されてる 大なる事場が眼前に展開されてる 方産業経濟に關しては所管連ひ、高橋酸相は富然の所管事項こと高橋酸和は富然の所管事項ことが、一き効果的實践を提示したが、一き効果的實践を基調さるで遺憾な、個創的の所

營口水產學校

教部監局に邀遣の結果近くこれな水産高級中等敷校は高洲崎唯一の水産高級中等敷校は高洲崎唯一の水産高級中等敷校は高洲崎唯一の水産高級中等敷校は高洲崎唯一の 近く國立變更

町 答用品と

豆富に取揃へて居ります 受ケテ重寳、贈ッテ便利ナ 共通商品券,海利 て自信ある品を

、銀行に轉向續出 劣勢銀行の合同にも乘出す 滿洲國銀行法制確立 る陸海軍の忠誠他意な けにはいかね。 ◆
関は決して人種差別観念からい
ふのではないが大連の電車は開
放的である、苦力さの混合乗車
は発・でも考慮して貰いたいも きだに概苦しい電車内に不潔磁 まる苦力がドヤーへで入り込ん 電車とWC

イヘル将軍が、捕縛に向へる

捉へられたが、確證なかり

た。六月三

財政部は近く何等かの處置に出
対政部は近く何等かの處置に出 就任を禁止 より技術質繁素を開催して標本をいたころは一割八千歩で右は飛ぶられて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る、現在の天候が鑑されて居る。

月 (新京特電四日襲) 満洲國政府では電声の銀行業所に従事することは其一世質と弊害を醸成する惧化があるので官吏の銀行業に従事することは其 各官署に訓令

中計畫の下に行はれて居るが作付 一萬一千五百町歩で十年後には 一萬一千五百町歩でなる見込で康 徳元年度に於ける檐作は第一區六 郷二區百三町、第三區二百三 十三町、第四區二百九十三町、第

婦人團體競合 國防婦人會と婦人聯合會 新京で對策協議

主筆夫妻と

でマバラ小手合せのみに 大阪三品後場保合な入れ

品具

一八八二〇 相數

綿糸保合

扇印、※印、

籔入

りの

一番よい仁丹石鹼

ボコバンプクブ

安藤高會安藤高會

昭和九年七月三日 愛宕町上四 古心之候に付此段謹告候也

阿片小賣商

德

ーション紙歌語等のラーク氏夫妻 た米國アトランダ・コンスチチュ た米國アトランダ・コンスチチュ

関の座談會に臨みクラーク氏は水 さの會見を終つた。午後は三時よ總理に會見、次いて張雪楽部大臣 狀況な視察、午後は菱刈大使な 奥地市况

学計開閉装置・超多機式・角背表紙 用紙差替自在・綴穴の切れない

300頁一册¥2。30 送料¥0。33 內鮮滿臺有名文具紙店及デメートに有 發質元 大阪市東區平野町二丁目 株式会社 福 井 商 店

のれん 厚司アリ

幕

一〇九三

WHITE SALES IN THE SALES

N PINNETHER STATE

宣傳機

印物一式

胡互染内代

哈

其他正札の半額や

御調度は是非

酸の調査を行ふ樂定である

港間鬼で瞬回する、一方プライ

七月一日 ヨリ 五日マ

果 A



尚斯くの如くに獅子身中の虫が

(版二第)(二)

のナチス軍内訌遂に破

氏が之によりて、黨内の反ヒ

會に彼園紳士淑女が常の如く夢 賀陽宮殿下並に妃殿下の御歌迎 現ならず、我大使館に開かれた

毫も騒擾氣分を見せなか

らず同夜の市内盛り揚は平日と鮮かであつた。此の大事變に拘

けあつて、その手際はまことにさすがは強力獨裁主義の顕領だ

ル獲得の爲めの政略たるに

除いたのである。 除いたのである。

機先を制す ヒットラー氏 ナチス内訌

說

さに強れたる

◆それからま の渡速町の

有計一手首 相 相

東六區三百六十二町

齋藤大使

鈔票强

全米に放送

北鐵線の實談

◇定

煖房、給水用品

キッネ顔付薪

名倉製作所

一錢」電話四三〇八番

藤花印

@

雇

告

德

東六五〇二番を代野・停留所中国を機画町・停留所中国

生徒募集

◇大連の共同便所は今より二十四公園町や天神町造に設けてある 五年前上田警部が衛生主任常時大連の共同便所は今より二十四

町や伊勢町の夜

新東反落

△御家族連れには――

電話四四一四番

夏の晩翠御案内

英和タイピストの

特に本年は東京より腕利の料理人を招聘致しませた順に

入院權 科

後場市況食

B

さんでもは自宅に引取り捜査せる

病弱の友を養ふ

女給の隣上

親身も及ばぬ一年ちかい介抱

力で誠に幸福で御座います。

の干切れを撤

れたが顕微野際書郷町杉本敷着氏れたが顕微野の書の一日附を以て書表されたが野は三十日附を以て書表されたが野の清州事選

杉本巡査に

動位授けらる

軍警提推

治安維持

けて貰いたいこ

は、大石橋』オール大程橋庭珠チーのより小壁校裏浦線コートにて響行るとれ際職合軍六一覧を得て第二位の大の機関を大の監に難し一覧の差を以って優勝かを機関といった。

***だ吹く美しい話

注文成二澤山 本天地委座談會 電影より敬慕されてゐる滿纖地方 でした前後の慶脱者さして在繼日滿

中西地方部長來鐵

東洋一のケーソン工場

ーソン工作の進捗如何は

【清津』北館園庭地方は鷹々蘇聯 有事の際においては北鮮三港及び その他の都市が選早く空襲を窮る できは然識であるが先づ発蔵北低。 できは然識であるが先づ発蔵北低。

新七點の注文をさつ! 物・一日奉天曜前某邦

かうさしたち しむるがためである
大震が表る大 大尉な無龍江省警が戦闘問権が行
て響り飲々流 安維・押上、軍警の連絡な緊急なら
なるが去る大 大尉な無龍江省警が戦闘問権が行

間また、同所

大石橋庭球戰

北鮮の

港灣を中心に

『事天』奉天北平間の直通列車の運行により瀋陽線站瞻は頓に洒録づき附近一帯の滿人融入 【事天』奉天北平間の直通列車の運行により瀋陽線站瞻は頓に洒録づき附近一帯の滿人融入 消職の各線が有する奉天中央驛の建設論が各方面で採頭しついある を登集しません。 を必ずるのと、 をできまるのと、 をできるのと、 をできるのとをできる。 をできるのとをできる。 をできる。 をできる。 をできるのと。 をできるのとをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできるる。 をできるる。 をできる。 を 根本能に中央縣の建設計畫をこの

車馬規定料金 錦縣當局が決定

さするには偏在せる験わり後一、北陸等の地域を包含した中へ、 北陸等の地域を包含した中へ

日浦南國の脉勢から大いに考慮せ

無中增級問題

根本方針を研究

必要施設はどしり

黨中西地方部長談

方部長さ奉天地方委員さの座談会

は無州」 鍵駅警務局では管内の場上、人力車大等が駅とすれば乗客にして整理機を乗り廻したりまた。 かな賞金とか乗への不都合な者とかまたりまた。 かな賞金とか乗への不都合な者と

をこのりてその質質にもて虚言 王道國家 には畛域の別無も

九七、六六七枚

速かに歸順し 角で叉定期独金三ケ月期限年五分六ケ月期限年六分一ケ年期限年七十 引上げ 預金利息を 半日五角さなつてゐる 營口商業銀行

方職からその出現な期待されて 出議人の人門式な駆ける機樣で各 日議人の人門式な駆ける機樣で各 公會堂地鎮祭 二日莊嚴に執行

婦女たち三十餘人が集まつて、野

天津中山公園の市立美術館で先出、三丁銀田の壁橋線道展が会際によりは最明泉、電田田、李宏生、天かまでは低鐵、順子南、縦志準氏等

から左記の如く各方館でも頻度

夏季さなり各方館の執務時間變更 (議員)

各方面の執務時間變更

院及司法部の日系官吏の間にも満洲國官吏滅俸反野の聲は、監

搭聯された。 博昌新生活クラブの女子水泳部に

2日下自由競争を

突然十餘人の呼吸が現はれ会部山良歌県ひながら草州なしてゐるさ

弘道館上棟式

司祭下に地方事務所長代理平田地あるが二日午後三時より伊藤神職の大変を逃りつくに使りをなる地震の嘘を逃りつく 【大石橋】既職大石橋公會堂は三

でから、同時に一切の組織を新って、 の登記を認つ

鄧鐵梅

滞納は三萬餘圓に上つてあるが 奉天商単地に於ける租借地租の

人
他
地
の
地
祖
な
取
立
て
る
こ

長辭職說誤傳王營口總商會

さして繊梅を導き且又被意な以こして動誘し下されたり、繊梅にして若し新國のため動く意あらばて若し新國のため動く意あらば 先級氏の出身地たる歌楽などの歌楽をなどを 電子の歌伝の歌楽をする歌楽をする歌楽をする歌楽をする。 電子の歌音が歌響をする歌歌を を選びまる時に方 電子の歌歌を明れた。 では、 では、 では、 では、 でいまする。 では、 では、 では、 でいまする。 では、 でいまする。 でいまる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまなる。 でいまな。 でいな。 でいな。 でいな。 でいまな。 でいまな。 でいな。 でい 数く輔むさの意味を選び

三日の二千百二十四枚である
三日の二千百二十四枚である

ツキして

廿四金の刻印

解熱鎮痛新剤

億金四十銭

廣告圖案展

【奉天】河北省生れ工業區四馬路 だいて金原紙工の職人さして働い たいて金原紙工の職人さして働い たいて金原紙工の職人さして働い

六月の大減少は慰性往來等がめつ

が物にした市中聯合國光の腕の が表正しく國光前衛西澤後衛の 番合せがオール大石橋の王將で あらうさの評である

のさ共に金州の観察遊覧人士の が贈され一日満電バス新市街待合 が贈され一日満電バス新市街待合 が贈され一日満電バス新市街待合 が贈され一日満電バス新市街待合 のは、なほ満電より のは、なに満電より のは、ない、満電バスも加

忠誠をつ

發行高

が六月に入つてこのが 【奉天】奉天縣入場

にしたき 松本二等兵の美事

鐵嶺地區憲友會

旅順から

綜合的設計及製作 東京·台灣鈴木小松商店

の しぶ しふ く効く夏にみ痛 社會樂費本日 連大 元資登

奉天商議の 役員選擧施行

前日に比し乗車数七十一名降車数 **『奉天』七月三日の直通列車乗降** を表したの如くで 直通列車乘降者 七三等二二七 伸びる奉天

本ででは、 ・ 一部工協会では、 ・ 一部工協会では、 ・ 一部工協会では、 ・ 一部工協会では、 ・ 一部工協会では、 ・ 一部で表現社産品並に、 ・ 一部に、 一記に、 一記に、 一記に、 一記に、 一記に、 一記に、 一記に、 一記に、 一記に、 一記に、

重症用

【泰夫】省公署の調査によれば奉 天市の人口(附編地を除く)は 月数七二、八八五月、徳人口四 〇三、四四三人

地加を示してゐる 七戸、人口二、八四三人の何れも 滿取六月の成績

【奉天】滿均の六月中成繼は並會 一機で前月に比し一萬二千六百五十四條の增加で內譯は 一機で前月に比し一萬二千六百五十四條の增加で內譯は 長期取引 二二、〇九〇株 長期取引 五七、七七〇株 延取引 二二、一人八二個 同代金七、三一九、〇六二個 同代金七、三一九、〇六二個 同代金七、三一九、〇六二個 一個、七、金二三〇、一六三〇株 一四七一、六二〇株 一四七一、六二〇株 一四七一、六二〇株 一四七一、六二〇株 一四七一、六二〇株 一四七一、六二〇株 一四七一、六二〇株 一四七一、六二〇株

に選へて第三回劉外試合を行ふさ ならいっトイホ 實用新案 入吸煙をロルキンプ 九三四二九號

―近代的 厨房設備新滿洲國の建設は―

から

松本支支

池田小見科門醫

慢性用 旅院人 実験と賞讃を得たる臨床医家・各病院の 高

東京市市等場新町二丁目三十三番地 **冰道炎、攝護腺炎、消渴**

店理代

一名も無い事實を深く認識と一名も無い事實を深く認識と

感心な鮮人洗濯

大石橋市民が 熱含

な勢ひで流

あちらでも

劍戟流行

金米各地の大學の女生徒間にフェンシングが非常

つきりで疾患を認めるものは何病

海に、ブールに悪まれた健康な嫌がした。 でなはず ― 師らな姿美をさこの でなはず ― 師らな姿美をさこの でなより、はかて婦人に遊した運動です。 でないる上から最も理想的な運動です。 では、ブールに悪まれた健康な嫌い。

無に人妻になってからそんな無楽に人妻になってからそんな無楽されらばこのてかりますか、月經中の水深は往々(なったりする)を教き起すことくなったりする)を教き起すことでありますから出来るならばこのです。

時な運動の一つさい

健康と相談

婦人科の疾患ある方は

等な運動量を無へる爲めです。



は内部で外部の經縁が經難確なもの部にて來て使ふ方はこんな注意を出して來て使ふ方はこんな注意をお応れなく……常顧庫の第一條例

こんな注意が肝腎

日のない、

世界中の人から

親しまれる

これが『移民地文學』の

木村毅氏を繞る座談會

普一も濃い糊なつけます

足で踏み流ひ着物糊よりを握りほごなこかした中

海水浴、定、健康、の問題 的な運動

だが自分の體力を知るここ 終日入り浸るは禁物

美者、海水浴の効果についても赤深い研究をなされてあられなければなりません、大連醫院内科融監長两岸博士は裸盤議 ンデイションによつて海水浴が人種に及ぼす紫癜も自さ決定水浴と避康さの關係はさう簡単には片附きません、健康のコ水浴とを選集さの関係はさう簡単には片附きません、健康のコ す。海水浴は冬の陰い滿洲での唯一の職首です。……だが海維碧の海にくろがれの肌へ鍛えるシーズンが近よつてなりま は壁の上で理想解な が、御承知のやうに水の中には

が論健康者でも一應海に入る前に が論健康者でも一應海に入る前に できまる海水浴も皮膚を縦へ なり、ここは密明な事ださ思ひます、そ できまなる海水浴も皮膚を縦へ なり、

さてそれは鬱に受ける感じさしては鬱の爲めにいゝのださ揺信してしまふさ相手の力のわからないので無理に相撲を取るのさ同様破すに無理に相撲を取るのさ同様破すに無理に相撲を取るのさ同様破すい。

分で切り上げるこさが最も必要です。それから側のこぶら返りさいなければなりません、重いな場合は自分で氣附いて滞に入りませんけれごとは輕度の場合自分でませんけれごとは軽度の場合自分であるものなど、重いはなけれごとは軽度の場合自分である。

醫師の指圖に從へ ますし、叉子宮の養育不全の人がますし、叉子宮の養育不全の人が

さな冷すためにいよく 養育が運 ての時期を通じて水泳は絶黙に避 中の婦人は姙娠の郷 網果を招きます ますがら、矢服リクリーニング屋 ますがら、矢服リクリーニング屋

コ社の新人コロムピアの計算に対してあるが氏は本年田一歳許な情とてあるが氏は本年田一歳許な情とてあるが氏は本年田一歳

い管炎、子宮内膜炎 る方、わけても炎症 表面の様だけをそうつさくみ取りなるに一合性の熱調をかけ、上ずみのはこれですくび取って、之家の人に一杯位すくび取って、之家のに一合性の熱調をかけ、上ずみのける。



さ皮が剝げるまで平氣で居ります 膨緩な鬱質の人なごには海岸よりつて皮膚を膨赤にし、ひざくなる 概にかういふ病熱のある人や嫉婦ですが之も一日中裸鬱で入りびた た上でその指圖に從はないこ病績

を場合は一回の時間を五分から十一時のて徐々に黙くするやうに心・ になるのを得意がら 分に含んでゐる爲に紫外線なさへ いし、又海岸の空氣は水蒸氣を多 雨期に入り 歴埃 の酸い山の上で紫外

を 時々私の所にも満洲から原稿を送 来記でなら今日まで、ごうも滿 で

の交響の真性ばかりで、滿洲環状つて来ますが、ごれた見ても東京

百般

たら、渝洲にゐる人より東京

女達は二千二百圓さか

石界G開祖 声清·

大連市至場地区雲井町五

に居つた娼妓二名が

好い所位に思って來

かの女達は、

洋服の始末 先づ汚點拔き

様に、洋服の始末もなさらい雨期に和服の手入れたなさ つぼりかぶせて置き て出さない外套等

れた文學とそ植民地

のではないかで思

解幕棒

油

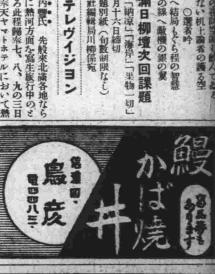
かどや

防空』編 滿日柳堰

高射砲弾丸の値関いて非常報忘れた一燈明か 非常報忘れた一燈明か 恐々で解除の報に灯れ 敵機から見れば演習お洩れる灯へ都市全滅の 防空で原始にかへる夜防空デー木の集落しも 防空の最中に女房産が落ちて來さう

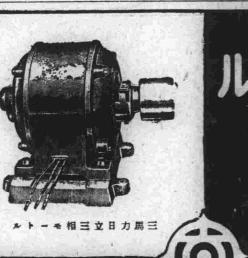
門專.兒幼.兒乳 一野御公西市建大文章を経済に関公安や

は、本村氏 カリホルニャのな 造などへ紹介しましたが、まりの使命ではないから思います、に書いてゐたやうだ、まりの使命ではないから思います、に書いてゐたやうだ、まりの使命ではないから思います、先程を明月がいはれた如く、満洲で書くやうにしなければいな響がません、溝鑢が明治四十一年頃出 こさです、先程も繰り返れません、溝鑢が明治四十一年頃出 こさです、先程も繰り返れましたが、まさん、溝鑢が明治四十一年頃出 こさです、先程も繰り返れましたが、まさてから今日まで、ごうも満って響に東京の交響のに表す、大きな、本ましてから今日まで、ごうも満って響くできたとない。またが、まるでは、本村氏 カリホルニャのな 造などへ紹介しましたが、まりの使命ではないから中間から新しても、変響のを変した。









相 相單 用 式動起 掇 叐

六一リ通縣山市連大 一三ノ二町山南府城京

内ノ丸京東

式動起 相分 0 戸井深 自号 自号 自号

歌に生き悪に生

七月一日・臨

X整 光線 科科

リアルファンコヨーマンプリー五番 學校の成績は関語が終してはない時にはるかった

どこの乗占にもあり が派快に進みます◆ をのんで下さい◆頭

酒清 行を示せるは酒界のレコー **盛賈日尚淺きに不拘驚異的賣** 激

日本棋院春季大手合戰論 先 三段 黑田

大幸,龙雄丁

所要時間累計(頁 三時十九分 對局者の言葉(黒)百

午後の部

、現に角百二十八さツイで居那百二十七には襲翼がありま

局八第)ほには

夏以來米國各地の鄧麗地で非常に流行してゐます。でダアルス決勝戦で衝騰したラ・シェル夫人、チャンスラー嶼組の動戦振りです。パドミンドンは昨でダアルス決勝戦で衝騰したラ・シェル夫人、チャンスラー嶼組の動戦振りです。パドミンドンは昨

パドミン選手權大會 アスロンで行はれた加州女子パドッシトン選手機大会

满

で野球を語る 衆冠は何 京城、八幡、東京が優勝候補か

今年の都市對抗豫想

から聴情に練習なしてゐるからも一つの鍵が後チームさして平素

【面局の迄歩五九は圖】

25.5



米國獨立祭慶祝國際放送

大連(五七〇KC) 午前の部 午前の部

■日 五 4

京城府廳水産駅立、日用品値や忠夫

五より六・三〇まで(大連の関金な祭慶祝交換放送

↑↑ ≜ 五四四

▲▲▲ 六九•九 二五•四

^無特別夫棋戰 香香香香 六段 其

100

井居八段講評 飯塚

ンテナの張り方

永森に る 活 生

歌しています コーヒー MIL おが既に恨れるツブ 成女性 新七七大學上事

の歌笑、歌製の宝に格ける 森永製菓株式會社果工部

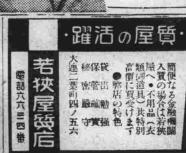






永 森

「大学のおもてなしに お飲物に・お評理に お飲物に・お評理に



バビレスオ

1 F



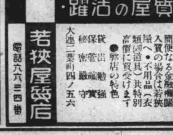


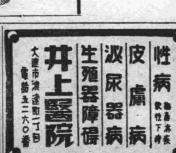


特料 平 七八話電









永森フ

ツジ

٦.

ス



(六)

股鈴木爲次

郎著



(新京特電四日發) 歴述極東恭葉に最高機関の意に基いて懲秩以北五世

煙秋バラバン間の道路の改修なな

電氣自動砲數門さ多

東合の下に盛大なる講演で映画の 繁校講堂で撃生教良統一子三百名 音する事さなり三日左の通り海軍 が電極突事供の香間に就ては中央 が電極突事件の香間に就ては中央

百貨

金二圓河質、上海に常器座入場券贈呈目下署中贈答品・夏の飲料品陳列會開催中

連鎖街

星

をなし、その他煙状以北スラビヤンカ、下獲くは。その他煙状以北スラビヤンカ、たなし、その他煙状以北スラビヤンカ、

北南地において用意

新京防空デ

が白鷺の機性

洋酒

去る二十八日

暑中

即答品の雄

0

力

孟骨水道で遭る

食和洋 莨料洋莨

品製社會スピルカ

三五〇〇

• 一六一五壺

盛況裡に終る

日

幸役

五月七

手工用短刀と古ゴザも發見 勇躍する捜査本部

歌舞伎座に開演中の開屋被子のおなざは氣にも留めす?一家揃って

「君業は獣のやうなも

んだ、霊動

兇器と覺しき手工用短刀と茣蓙とが發見され、底知れね謎に包まれてゐた怪殺人た左足赤短靴を警察犬/高千穗/が衝へ出し、續いて泥中に埋もれてゐた犯行用の大捜査を試みたところ果して午後三時に至り被害者のものと思はれる泥にまみれ來大連署捜査本部では頓に活氣づき、三日午後警察犬二頭を暗渠内に放ち最後の五里霧中にあつたマンホール殺人事件の『 質線上に謎の鍛冶職二人が登場して以五里霧中にあつたマンホール殺人事件の『 質線上に謎の鍛冶職二人が登場して以 事件の解決に一大光明を投げるに至つた

見るなりの被害者のものだりで直

事件再び五里霧中 麻生は歸郷、生存の報 靴のあつた場所より更に十五メー 感して勇権捜索を織けたさころ、 水溝入口に寄った暗渠内の

皿液の判定は不可能

推し、犯人が同所に跡級農業とよい販新職が鑑いてあつたさころよりに本年四月十三日(金曜日)附大 更に短刀及び茣蓙を發見した場所

スル鉄着以来黄民鉄部、I用品歌 地名 観覧者主催の歌問列車は去る三十日チチ 如 t 知じまる三十日チチ かん 発るまで活動を**接**けた 慰問列車成績

露領煙秋方面で

ベビーカー試乘會

曲痛。セロシン(聖然心)日味は疎過

世界各國酒類

食料品

長期攻防演習

國境の脅威益々

一覧をの他住民塾安のため手品、映 ・ 数安の係めチチハルを出験した。 ・ 数田 に 数間別車の本日迄の上線次の ・ 対四日午前八時半繁克流線の住民 ・ 対四日午前八時半繁克流線の住民 ・ 対四日を が四日を が四日を が四日を が四日を がのは できます。 映

八八龍江醫院

満鐵に委任經營

七月中旬に醫員配置

日間電園下角

Joy of the Tasto

御贈答品お選び

四四四三三二二-五三〇八五八五三 0

9

店

元

本各地名産

松

ネッスルチョコレ

函

入上

常護満場一致



三時から會議室で開催、庵谷氏外役員を決定する議員會は四日午後

整形

本天商工會議所再選後の會頭以下 副會頭は上田、向坊兩氏

各女子中等學校全生徒が参加攀行を女子中等學校全生徒が参加攀行

外科

白語 酒白龍正宗 電話ーーー等の指導を

女學校水泳

電22227

八連にも行きたいですが、十一 「隣洲俱樂部で試合し七日楽天にお で五、六の二日勝洲岡並に

奉天商議會頭

田氏

當選

電話三八九九番 電話三八九九番 上谷 車一

フランス・リゴー會社の

香水のはかり

益々御好評を載いて居りますので 今夏は更に新こい香りも二種追加 致しました是非引續き御愛用な

ムシムシ したお寝床に。 お客間にお しばりには御徳用なローション のはかり資か 100…。70より1。00

より十五日まで 00000

H

言は排日還りは 日論者

畑にた支那人

近~着丁

親日の空氣を融らしてゐるされに日本教官観察師を弥織しまって日本の対跡や教育制度をほめちぎつて日本の対象の変貌を報じないので、 帝制記念塔

同主能にて清晰、車天徹崎 を聞る目戦を以て車天衛公 で開る目戦を以て車天衛公 一回編州生産品展覧会

月廿日. から奉天で

满洲生态 る九大野球部選手一行十一端四日報一富水像夫君な 性品 展 覽 會 要喚起に

輪の目的を以て州外に持ち出した の結果、前部膵臓者が常習的に樹っ 悪天特 いて逃走したものである 新京奉天で試合

密輸常習の列車傭人

取調中の車から

飛降り逃走

東京三日發國通」驅逐艦深雪及 山本大將ら任命 一般官民有志集合のも二時一先づ散會、午後

對奉俱野球戰

東門のサルペーラ艇さ、 本郎者の状になる程……」さ で主要を親の愛に微軟してゐる。

實用的

21

L

て氣品

あ

る

林

川

通

林洋行

菓舖

電話五一〇九番

洋行のお菓子

好適品店內山積

御

に

は

撃を封じ奉天軍は満

國線の事故減少 五月は良

により着るとく対成線を撃げ全く しては微楽鏡の努力を踏響の警備 しては微楽鏡の努力を踏響の警備

八九二十二

兀贈答品大賣出 御選定は信用ある専門の 第月本特参御伺ひ致ます)